

基準7 学生支援等

(1) 観点ごとの分析

観点7-1-①： 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点到に係る状況)

入学・編入学予定者と保護者そして専攻科全学生には、学期開始前にオリエンテーションを行い説明を行っている(資料7-1-①-1~3)。準学士課程1年生は4月にも研修を行い、専門学科ごとの教育方針や学習方法、卒業後の進路について動機付けを行っている(資料7-1-①-4~6)。他の学年も年度当初に担任が、学科の現状や学級の運営方針を示している(資料7-1-①-7, 8)。

資料7-1-①-1

合格者オリエンテーション資料(抜粋)

平成23年 2月25日

合格者への連絡事項

1. 入学説明会について

入学に関する説明会を下記のとおり行いますので、保護者同伴で出席してください。この説明会に出席しない者は、本校に入学の意思がないものとして合格を取り消します。

第2体育館で実施しますので、「上履き(体育館シューズ)」をご持参ください。

なお、本校への入学を辞退する者は、入学説明会までに辞退届を学生課入試係に提出してください。

記

(1) 日 程

平成23年 3月3日(木)

9:00

} 受付(同封書類の提出をお願いします。)

10:00

10:00 校長挨拶

10:05 副校長(教務主事)、校長補佐(学生主事)、

校長補佐(寮務主事)の話

教養科(英語、数学)からの話

10:30 事務部からの連絡事項

11:20 教育後援会・同窓会の説明

11:30 質疑応答

11:45 自由時間

12:45 学生寮案内(寮生会)

物品購入等(第1体育館)

以上、終了次第解散

(2) 場 所

沼津工業高等専門学校 第2体育館

(出典 学生課作成資料)

資料 7-1-①-2

編入学者オリエンテーション資料(抜粋)

平成22年 8月18日

平成23年度
編入学者選抜検査合格者 殿

沼津工業高等専門学校長
柳下 福蔵
[公印省略]

編入学のための説明会について

このことについて、下記のとおり実施しますので、必ず出席してください。

記

1. 日 時 平成22年8月23日(月)
4学年合格者 9時00分
3学年合格者 13時00分
2. 場 所 沼津工業高等専門学校 講義棟1階西 M2教室
3. 持 ち 物 受験票・筆記用具
4. その他連絡事項
別添「入学誓約書」に記入押印の上、8月23日(月)までに学生課
入試係へ提出してください。(説明会当日持参可)

(出典 学生課作成資料)

資料 7-1-①-3

専攻科入学者オリエンテーション資料(抜粋)

平成22年12月 1日

平成23年度専攻科入学予定者 殿

沼津工業高等専門学校長
柳下 福蔵

専攻科入学説明会の開催について(通知)

このことについて、下記のとおり開催しますので必ず出席して下さい。

記

- 日 時 平成22年12月 9日(木) 16:30~
- 場 所 専攻科棟 視聴覚教室

(出典 学生課作成資料)

新入生オリエンテーション研修のしおり(抜粋)

平成23年度 新入生オリエンテーション研修のしおり



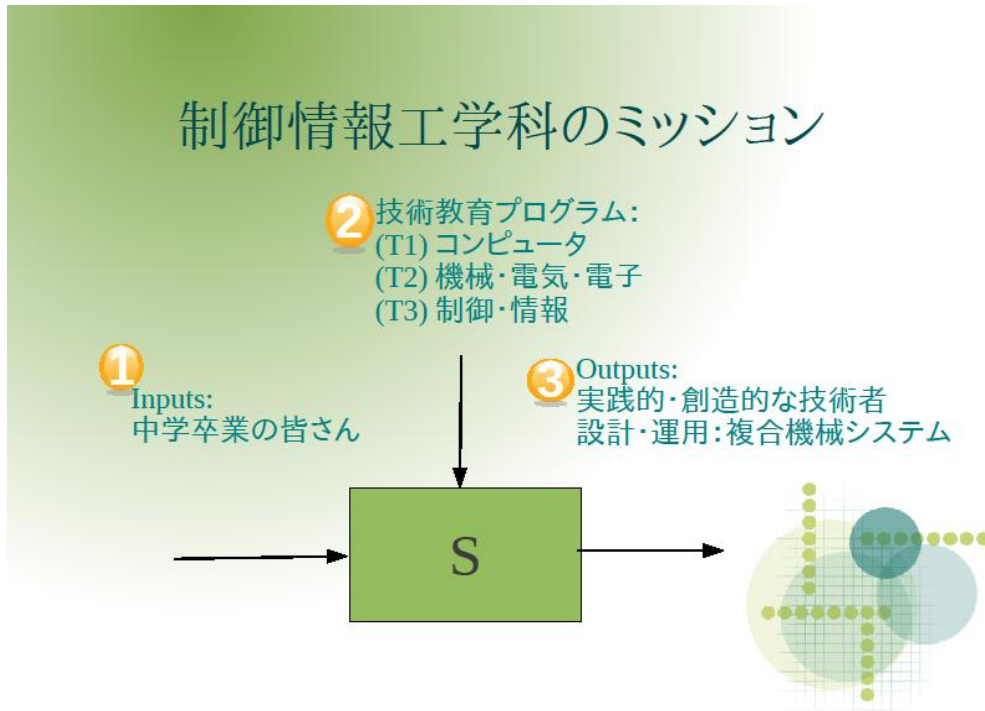
クラス	番号	氏名

沼津工業高等専門学校

(出典 学生課作成資料)

資料 7-1-①-5

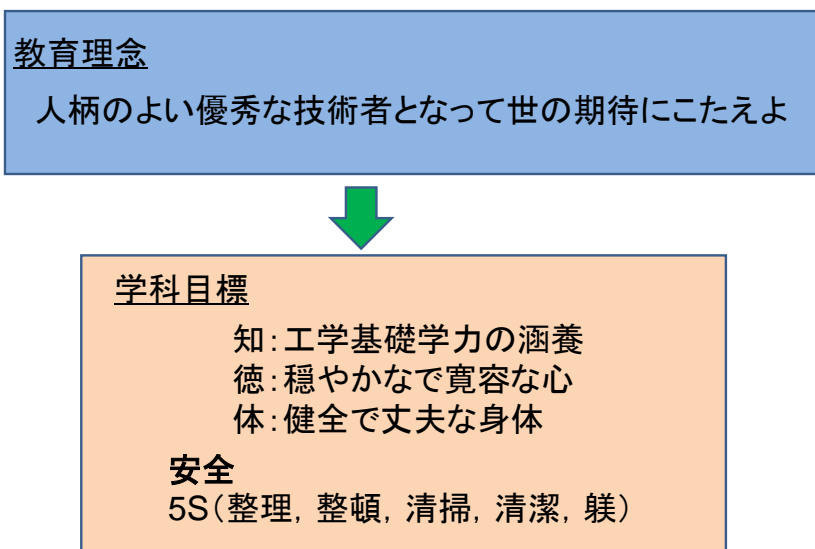
制御情報工学科紹介資料(抜粋)



(出典 制御情報工学科ガイダンス資料)

資料 7-1-①-6

機械工学科紹介資料(抜粋)



(出典 機械工学科ガイダンス資料)

電気電子工学科4年生ガイダンス資料

沼津高専電気電子工学科新5年生へ

2011. 4. 6.

H23年度クラス担任:〇〇〇〇

居室:E科棟0階E000

電話:055-926-0000

E-mail:xxxxxx@numazu-ct.ac.jp

(1)5年生になって考えてほしいこと

- ・5年生は最上級生であり、卒業という出口に向かって進む重要な学年です。
- ・1年後は卒業して各自の進路に分かれています。その時、自分はどうなっていたいか考えて、これからの計画を立ててください。
- ・電気はエネルギーからエコロジーまで広く関わる分野です。電気電子工学科で学んだことをどのように活かしていくか、ということ意識して学修してください。
- ・夏休み頃までに進路が決まると気が緩みます。「就職が決まっていれば不合格にはならない、卒業できる」などという甘い考えは捨ててください。当たり前ですが、各教科の基準で評価され、不合格で単位が不足すれば留年です。
- ・5年では「卒業研究」があります。これまで電気電子工学科で学んだことを土台にして自由に研究し、大いに楽しんでください。
- ・5年生は成人になる年齢でもあります。自分の行動に責任を持つ、つまり、勉強も色々な活動もやらされているのではなく、自分で考えて行っていることなのです。
「人生は、各人が考えたようにしかならない」

(2)東日本大震災にともなう対処について

通学に支障が予想されるが、可能な範囲で各自対処してください。

計画停電がある場合、授業を別紙の時間割に変更する。月曜実験が午前になる。

東海地震もいつ起きかわからないので、非常時の行動や連絡方法を確認すること。

(3)学修・単位取得について

- ・選択科目を積極的に受講しよう。受講票は4月20日まで。
- ・再評価が必要な者は4月中に申請すること。
- ・H19年度以降入学者は、すべての必修科目を修得していることが必要です。
- ・就職活動や大学編入試験で休んでも公休にはなりません。事前に届け出てください。
- ・欠席・欠課届があれば時数補修が受けられます。その他いかなる場合も休む時は事前に担任に連絡してください。メールでも結構です。

(出典 電気電子工学科4年生ガイダンス資料)

制御情報工学科 3 年生ガイダンス資料(抜粋)

平成 23 年度 制御情報工学科第3学年 新年度ガイダンス資料

担任の連絡先（表題に名前を書いたメールを 4/8 までに担任へ送ってください）

学校の E-mail アドレス：xxxxxx@numazu-ct.ac.jp

学校直通の電話番号：055-926-0000

1. 予定

【4月6日（水）】

8:50～新ホームルーム

9:20～始業式・対面式

10:20～ホームルーム・写真撮影・教科書販売等

（写真撮影は 11:25～：学生証に検印、場所は選択制教室 4）

13:00～クラブミーティング

【4月7日（木）】

8:50 までに尿キットを教室で回収・その後保健室に提出（13 時に外部機関が回収）

【4月8日（金）】 13:45 ぐらいまでは授業を受ける←昨年とは異なるので注意！

13:50～14:35 定期健康診断（歯科は 14:00～14:20：歯磨きをしておくこと）

2. 通学について（ステッカー等の配布）

自転車・バイク通学が増えますが、安全には十分注意してください（防衛運転の実施）。必ず学校のルールを守ってください（無届の自転車やバイクでの登校は禁じられています）。長期休暇中に駅の駐輪場へ自転車やバイクを置いておくことも禁じられています（休暇前にアナウンスします）。ルールを破ると様々な権利を失ってしまうので気をつけて下さい。

3. 提出物について

【重要】大人の社会では期日を過ぎたり内容に不備があったりすると、ほとんどの場合、提出物は受理されません。期日と内容の確認をこれまで以上に徹底してください（2年後には就職試験等があります）。また、これからは必要な情報は自分から収集することが求められます。

提出物	提出先	提出期限
宿所届（ <u>保険証のコピー</u> ：A4）	学級担任	5/9(金)
東海地震行動表	学級担任	5/9(金)
クラブ登録票	クラブ顧問	4/20(金) ←例年より早い
(希望者のみ)		
高校奨学金書類	学生課学生係	4/25(月)
日本学生支援機構奨学金書類	学生課学生係	5/9(月)

(出典 制御情報工学科資料)

なお平成19年度より1年生に、平成21年度には2年生にも専門学科の教員を副担任として配置し、下級生と専門学科のつながりを強化し（資料7-1-①-9）、学習を進める上でのクラスにおけるガイダンスを密にした。

授業初回には各科目担当教員がシラバスを配布し、授業の概要や目的、成績評価基準および、オフィスアワーの設置等を周知している（資料7-1-①-10, 11及び前出資料5-6-②-3, 4）。

資料7-1-①-9

平成23年度学級担任一覧

平成23年度学級担任及び講義室一覧

クラス	担任名		ホームルーム				人数
	主	副	建物名	階数	場所	面積	
M1	澤井 洋	松田伸也	講義棟	3	東側	81㎡	41人
E1	勝山智男	西村賢治	講義棟	3	西側	81㎡	41人
D1	松澤 寛	大沼 巧	電子制御工学科棟	2	北側	72㎡	43人
S1	駒 佳明	大久保進也	講義棟	4	東側	81㎡	42人
C1	渡邊志保美	後藤孝信	講義棟	4	西側	81㎡	43人
M2	平田陽一郎	宮内太積	講義棟	2	西側	81㎡	43人
E2	鈴木久博	江間 敏	講義棟	1	西側	81㎡	45人
D2	佐藤志保	青木悠祐	電子制御工学科棟	2	中程	71㎡	41人
S2	大久保清美	松本祐子	講義棟	BF1	西側	81㎡	44人
C2	佐藤 誠	薬科知之	物質工学科棟 (高学年棟)	1	西側	72㎡	44人
M3	西田友久		講義棟	2	東側	81㎡	34人
E3	真鍋保彦		講義棟	1	東側	81㎡	41人
D3	舟田敏雄	出川智啓	電子制御工学科棟	2	南側	72㎡	43人
S3	芹澤弘秀		講義棟	BF1	東側	81㎡	43人
C3	稲津晃司		物質工学科棟 (高学年棟)	2	西側	72㎡	50人
M4	永禮哲生		物質工学科棟 (高学年棟)	3	東側	76㎡	46人
E4	野毛 悟		電子制御工学科棟	3		72㎡	41人
D4	江上親宏		電子制御工学科棟	4	南側	70㎡	43人
S4	鈴木康人		物質工学科棟 (高学年棟)	1	東側	76㎡	41人
C4	古川一実		物質工学科棟 (高学年棟)	3	西側	72㎡	39人
M5	三谷祐一朗		機械工学科棟	3		78㎡	35人
E5	佐藤憲史		共通棟	3		82㎡	37人
D5	長澤正氏		電子制御工学科棟	4	北側	72㎡	44人
S5	吉野龍太郎		物質工学科棟 (高学年棟)	2	東側	76㎡	40人
C5	竹口昌之		物質工学科棟 (高学年棟)	4		73㎡	43人

1,047人

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

電子制御工学科シラバス(抜粋)

学科 学年	D3	科目 分類	工業力学 Engineering Mechanics	講義 必修	通年 2履修単位	学習教育 目標 2	担当	大庭 勝久 OHBA Katsuhisa
概 要	運動の法則や原理を学ぶと共にそれらを用いて実際の問題を解決できる素養を身につける。主な講義内容は、運動の表記法、質点および質点系、剛体の運動の静・動力学である、実際の工学的問題例や米国FE試験問題などを取り入れ、内容習得の補助とする。							
科目目標 (到達目標)	物理学を基礎にして、機械の静的および動的な運動を工学的に解析することができる。							
教科書 器材等	入江敏博 他著「工業力学」理工学社、FE-Handbook							
評価の基準と 方法	前期試験35%、後期試験35%、課題レポート20%、授業態度(ノート検査等)10%							
関連科目	物理学							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		前期ガイダンス : 工業力学とは、授業計画の説明、学修方法						
第2回		単位系、一点に働く力のつりあい・合成・分解						
第3回		力のモーメント、偶力とモーメント						
第4回		多くの力の合成(計算による方法)、有向力が異なる力のつり合い、又点と点カ						
第5回		トラス-節点法と切断法(1)						
第6回		トラス-節点法と切断法(2)						
第7回	×	前期中間試験						
第8回		前期中間試験答案返却・復習問題、前期末までの学修のポイント						
第9回		立体的な力のつりあい:ベクトルとスカラー						
第10回		立体的な力のつりあい:ベクトルの内積と外積						
第11回		立体的な力のつりあい:力のモーメント						
第12回		立体的な力のつりあい:力の合成とつりあい						
第13回		分布力、線、平面、曲面、立体の重心(1)						
第14回		線、平面、曲面、立体の重心(2)、つりあいの安定度						
第15回	×	前期期末試験						
第16回		試験答案の返却と解説・復習問題						
第17回		後期ガイダンス:授業計画の説明						
第18回		分布力-梁(はり)および索(さく)(1)						
第19回		分布力-梁(はり)および索(さく)(2)						
第20回		分布力-静止流体の圧力、静止流体中の物体に働く浮力(1)						
第21回		分布力-静止流体の圧力、静止流体中の物体に働く浮力(2)						
第22回		質点の平面運動、空間運動(1)						
第23回		質点の平面運動、空間運動(2)						
第24回	×	剛体の平面運動-固定軸まわりの回転運動、一般的な平面運動						
第25回		後期中間試験						
第26回		剛体の平面運動-往復機構						
第27回		質点の動力学-運動の法則、直線運動						
第28回		空間における物体の自由落下						
第29回		質点の平面運動、空中に投射された物体の運動						
第30回	×	拘束された質点の運動						
		学年末試験						
		試験答案の返却と解説						
オフィスアワー	木、金曜日15時から17時							
授業アンケートへの対応	この授業を学ぶ意義や授業進行について懇切丁寧に説明すると共に学生が質問をしやすい環境を整える。							
備 考	授業に関する質問は、@numazu-ct.ac.jpへのメールでも受け付ける。							
更新履歴	20110328新規							

(出典 本校公式ウェブサイトより抜粋)

機械工学科シラバス(抜粋)

Syllabus Id	syl-112-547		
Subject Id	sub-112-101551		
更新記録	110324		
授業科目名	水力学 Hydraulics		
担当教員名	手塚重久		
対象クラス	機械工学科4年生		
単位数	2学修単位(自学自習を含め90時間の学修をもって2単位とする)		
必修/選択	必修		
開講時期	通年		
授業区分	基礎・専門工学系		
授業形態	講義		
実施場所	M4教室		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
生産現場における機械技術のうちで、古くギリシャ時代から活用され、現代でも発展が期待される大きな分野の一つが流体工学で、機械工学の中で重要な学問分野として位置付けられている。その応用は、気象学などの自然エネルギーの解析から、ポンプ、コンプレッサなどの流体機械、自動車、航空機のエンジンなどの設計、土木建築にまで広範囲に亘り、最近問題視されている地球環境問題にも深く関係する技術である。本講では、水力学として、流体工学に関する基礎的な知識と理論、応用について解説すると共に、問題演習も行い内容の確実な修得を目指す。			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
微分・積分、ベクトル、力のバランス、液体・気体の物性			
学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	◎	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
B. 数学、自然科学、情報技術を応用し、活用する能力を備え、社会の要求に応える姿勢 C. 工学的な解析・分析力、及びそれらを創造的に統合する能力 E. 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力、および自主的、継続的に自己能力の研鑽を計画的に進めることができる能力と姿勢			
学習・教育目標の達成度検査			
1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。			
授業目標			
流体静力学、流体の運動について理解し、説明できる。 ベルヌーイの定理、連続の式、運動量の法則等の計算ができる。			
授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明	
第2回	流体の性質	流体の性質	
第3回	流体静力学 (1)	圧力	
第4回	流体静力学 (2)	パスカルの原理	
第5回	流体静力学 (3)	重力の場で静止している流体	
第6回	流体静力学 (4)	液柱計	
第7回	中間試験		×
第8回	流体静力学 (5)	固体壁に働く流体の力 (1)	
第9回	流体静力学 (6)	中間試験返却・解説 固体壁に働く流体の力 (2)	
第10回	流体静力学 (7)	固体壁に働く流体の力 (3)	
第11回	流体静力学 (8)	浮力	
第12回	流体運動の基礎 (1)	流線、連続の式	
第13回	流体運動の基礎 (2)	ベルヌーイの定理 (1)	

(出典 本校公式ウェブサイトより抜粋)

学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制としては、科目担当教員、クラス担任・副担任がまずはその窓口となる。授業やクラス以外では、専攻科生が下級生の勉強を手助けしたり（資料 7-1-①-12, 13）、何でも科目相談室として教務関係教員が質問に応じる機会を設けている（資料 7-1-①-14, 15）。寮においては、マテカと称した学生主体の勉強会を行っている（資料 7-1-①-16, 17）。

教員間では、平成19年度より担任連絡会議を設置し、学習支援に関する問題や情報の共有を行っている（資料 7-1-①-18）。

資料 7-1-①-12

専攻科生による学習支援

専攻科生による学習支援（勉強部屋）の報告書

作成者：藤田将喜

専攻科生による本科生への学習支援の第一段階として、6月17日(木)～6月23日(水)にかけて勉強部屋を開催した。本書は、その活動に関する報告書である。

目次

1. 概要
2. 参加者内訳(本科生)と支援した内容
3. 参加者内訳(専攻科生)
4. アンケート集計結果
5. 今後の展開

1. 概要

1-1. 支援体制

勉強部屋の実施期間中、専攻科生 10 名程度を支援学生として教室に待機させ、教室を訪れた本科の学生に対して勉強の指導等を行った。専攻科生は、本科 5 学科の出身者が必ず一人は待機しており、どの学科の学生が訪れても対応可能な体制を整えていた。

1-2. 実施期間および場所

- ・ 実施期間：2010 年 6 月 17 日(木)～6 月 23 日(土)
- ・ 実施場所：選択制教室 3・4

1-3. 広報活動

・ 実施期間前に、担任を通じ各クラスにおいて勉強部屋の実施に関する連絡を行うとともに、各教室にポスターを掲示した。

(出典 専攻科生による学習支援（勉強部屋）の報告書)

専攻科生による学習支援

専攻科生による学習支援（継続的支援）の報告書

作成者：藤田将喜

専攻科自治会主体による勉強部屋の実施後、専攻科生による本科生への学習支援の第二段階である個人単位での継続的な学習支援を実施した。また、低学年対象の「数学を中心にした学習相談」にも、専攻科生が補助として参加した。本ドキュメントはこれらの活動の報告書である。

目次

1. 継続的な学習支援について
 - 事例 I E2 の学生に対する学習支援
 - 事例 II C1 の学生に対する学習支援
2. 「数学を中心にした学習相談」への参加について

1. 継続的な学習支援について

事例 I E2 の学生に対する学習支援

I-1. 経緯と概要

2010 年の 9 月初旬に、E2 の学級担任から専攻科自治会に対して、学習面で悩みを抱えている学生 1 名 (E2) への学習支援の要請があり、E 科出身の専攻科生 (1 名、ME 専攻 2 年) が担当学生として支援を行った。

I-2. 実施日時および場所

- ・ 実施期間：2010 年 9 月 9 日 (木)～9 月 17 日 (金) (ただし、土・日、14 日 (火) は除く)
- ・ 実施時間：15:30～18:00
- ・ 実施場所：E2 教室

I-3. 支援の様子

E2 の学生は電磁気学の支援を希望しており、教科書と演習問題を用いて理解が不十分である部分の支援を重点的に行なった。E 科出身の専攻科生にとっては、電磁気は既に本科において学習経験があり、学習上のポイントを押さえた支援がなされた様子であった。また、支援を受けた学生は、同じ学科の先輩による学習指導が学生に近い目線で分かりやすく、満足した様子であった。

(出典 専攻科生による学習支援 (勉強部屋) の報告書)

何でも科目相談室のお知らせ

何でも科目相談室のお知らせ

試験が終わって、「これはいかん！」という人いませんか。
成績があがらない、勉強方法がわからない、授業のスピードについていけない
.....。

「まあいいや」と放っておいて、学年末近くになってあわてて対策を立てても、なかなか思うようにはなりません。学習につまずいたときは、早めに対策を立てて、立て直すことが大切です。

何でも科目相談室では、ベテランの教員（勝山ほか）が、あなたに合った、きちんとした勉強方法を一緒に考えます。一人で悩んでないで、相談に来ませんか。

何でも科目相談室

対象：学習に困っているすべての沼津高専生

日時：毎週木曜日の放課後（16:00 から 17:30 まで※）

期間：6/17（木）から夏休み前まで。

ただし、6/24 は 17:00 開室，7/1 は 17:00 閉室

場所：物理実験室 （専攻科棟3F，E1の奥）

持ってくるもの：相談したい科目のノートと教科書

※ 上記の時間で都合がつかない方は物理の勝山までご相談ください。

（出典 何でも科目相談室案内資料より抜粋）

何でも科目相談室の活動報告

沼津工業高等専門学校研究報告第 44 号, 2010
年 1 月, P313-316

何でも科目相談室における学習支援活動

勝山 智男^{*1}, 村松 久巳^{*2}**An attempt at the support for students with difficulty
in learning**Tomoo KATSUYAMA^{*1}, Hisami MURAMATSU^{*2}

Students with difficulty in learning have increased in number in recent years. A new guidance room for such students was established. In this paper, we report on an attempt at the support in the room.

Key Words: support in learning

1. 学習要支援者の増加

本校に入学した学生のうち、所定の教育課程を5年間で修得せず（またはできず）、6年以上かかって卒業したり、途中で進路を変更したりする学生が、少なからずいる。こうした、標準の課程から外れた学生は、多かれ少なかれ、日常の学習に困難を感じていると思われる。平成 19 年度には、留年学生数がその前の年度に比べて倍増したため、翌 20 年度は、全学を挙げて補習教育に乗り出し、留年学生数をその前の年度のレベルまで押し下げた。しかし、留年者数は減ったものの、学習に困難を感じている学生の数は決して減ってはいないと思われる。こうした学生への学習支援は、本校にとって重要な課題となっている。

2. 学習要支援者の実態

学生が直面している学習困難の実態は多様であるが、その中には、多くの共通要素も見られる。一般に、留年に直面している学生は、特定のいくつかの科目が苦手なのではない。多くの科目で不合格点をとり、複数の教師から多くの課題を与えられて、アップアップになっていることが多い。課題をやらなくてはならないことはわかっているのだが、どこから手をつけてよいかわからないのである。また、低学年では、そもそも勉強の仕方がわからないと言う学生も多い。中学生のときは、学校ではあまり難しい問題

はやらなかったし、塾では、周到に用意されたドリルなどを、楽しい雰囲気の中でやってきた。高専に入学して、自分で勉強しろと言われても、どうしていいかわからないのである。そうこうしているうちに、勉強は遅れ、わからないところが雪だるま式に増えていき、自信がなくなる……。こうした困難に直面している学生には、特定の教科の「わからないところを教える」という形式の学習支援では効果はあがらないだろう。勉強の方法を確立し、自分に合った勉強スタイルを身につけさせなくてはいけないからである。

なお、学習要支援者が持つもう一つの典型的な特徴がある。それは、教師の指示を守らない、提出物が期日までに出不せない、呼び出しに応じない、再試験を申し込まない、与えた課題をやってこない、あきらめが早い、努力しない……。等々、教師から見ても「たらしなさい」のである。このたらしなさが教師をあきれさせ、教師から突き放されてしまう大きな原因となっている。こうした、いわば社会性の欠如に対しては、勉強方法の確立とは違った視点での指導が必要と思われる。

3. 沼津高専の学習支援活動

こうした、学習に困難を感じている学生に対して、寮ではマテカ、学生生活支援室では勉強部屋および相談室、カウンセリングなどの学習支援活動が行われている。寮のマテカや勉強部屋は、先輩学生が勉強を教えてくれるので、気軽に利用できる反面、深刻な学習困難には対応しにくい。かといって、学生生活支援室に相談に行ったりカウンセリングを受けたりするのは、一般学生にとっては敷居が高いようである。

*1: 教養科（物理）

Division of Liberal Arts

*2: 機械工学科

Department of Mechanical Engineering

マテカ開催通知

編入学指南マテカ やります!!

今年度は**アノ有名大学**に受かった
先輩方を講師にお招きしています!!

Let's
JOIN!

入試対策だけでなく、普段の勉強法なども
アドバイスしてもらえるよいチャンスです!!

今年度編入学を考えている方はもちろん、
『まだそんな先の事…』と考えているあなたも
是非参加してみまはいかがですか?

日時 & 場所
12月19日(日)
@食堂

講師
C5
S5
D5
D5

(東京大学合格)
(東北大学合格)
(名古屋大学合格)
(大阪大学合格)

(出典 寮生会マテカ委員会資料)

資料 7-1-①-17

マテカ実施中の様子



(出典 寮生会マテカ委員会資料)

資料 7-1-①-18

担任連絡会議開催通知

平成23年 6 月 6 日

学級担任連絡会議委員 各位

副校長(教務主事)

学級担任連絡会議の開催について

下記のとおり開催しますのでご出席ください。
なお、出席できない場合は教務係へお知らせください。

記

日 時 平成23年 6 月20日(月) 16:30~17:00

場 所 選択制教室 3・4

議 題

1. 学習支援(特に1~3年生)について
2. 再評価への取組みの指導について
3. 電力15%削減に対する学生指導について
4. その他

(出典 本校学内メール)

保護者に対する情報提供としては、保護者懇談会に加えて、平成21年度より授業参観日として一定期間、授業を公開し、同期間に各学科が1日ずつ学科説明会を開いて情報を発信している（資料7-1-①-19～21）。

学習に限らず、問題を抱える学生に対しては学生生活支援室を設置し、男性、女性のカウンセラー（非常勤）をそれぞれ1名が週1回（計2回）、放課後から20時までカウンセリングに当たるなど、担任以外の教職員からの支援が行われている。（資料7-1-①-22）。

資料7-1-①-19

保護者懇談会開催通知

平成22年6月29日

保護者各位

沼津工業高等専門学校長
柳下福藏

保護者懇談会の開催について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本校の教育事業にご協力とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、例年本校では、学生の生活・学習等について、前期中間試験成績を中心に学級担任と保護者が個別に面談し、今後の学生指導に資することを目的として、標記懇談会を行っております。

今年度についても、下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

なお、面談日時を別紙のとおり割り振らせていただきましたが、ご都合の悪い場合には、開催日程中のご都合の良い時間帯に御来校いただいて差し支えありません。

また、その際に学校への連絡は不必要であることを申し添えます。

記

1. 日時 平成22年7月28日（水）・29日（木）
原則として、午前の部 9:00～10:10 10:20～11:30
午後の部 13:00～14:10 14:20～15:30
2. 場所 各ホームルーム（裏面参照）
3. その他 面談は原則として受付順とさせていただきます。
ご来校されましたら、面談会場（ホームルーム）前の受付簿にご記入後、番号札を取ってお待ち下さい。

（出典 学生課作成資料より抜粋）

資料7-1-①-20

保護者懇談会資料 電子制御工学科(抜粋)

第21回保護者懇談会 第2回学科説明会 資料

2010年11月18日(木)

沼津工業高等専門学校

電子制御工学科

目次

1. はじめに
2. 高専の目的と学業評価
3. 就職指導
4. 大学等編入学指導
5. 沼津高専専攻科紹介
6. 現4年生のタイム・スケジュール
7. おわりに。

(出典 電子制御工学科保護者懇談会資料より抜粋)

資料7-1-①-21

保護者懇談会資料 物質工学科(抜粋)

2010年度 秋季保護者懇談会

現5年生進路状況報告

2010.11.17

物質工学科・学科長 押川達夫

(出典 物質工学科保護者懇談会資料より抜粋)

学生生活支援室の活動状況

学生生活支援室の年間業務の変更について	
年間を通じて	
☆毎日の相談室担当	15:30~17:00 交替で常駐
☆カウンセラーへの対応	相談者の情報の事前提供 事後の確認・担当部署への連絡
☆学生支援のコーディネーター	相談者への支援を関係部署に連絡して協議
従来の年間予定	来年度の方針と希望
4月	
5月	
学生アンケートの作成	
勉強部屋の計画立案	
6月	
学生アンケート 1,2年生対象 記名で実施 結果をクラスごとに支援室で検討 各担任に報告、内容についての話し合い	*11~5年生に記名のアンケート(目的:しじめ、悩みを教い上げる) 実施方法 アンケート作成:支援室 実施:各クラスで担任に依頼 対応:問題点を担任から支援室に相談
勉強部屋 中間テスト終了1週間後より1週間 担任に呼びかけ、「なんでも相談室」と連携して、 専攻科生の協力を得て実施	*2教務に一本化してもらう 教務主導の補習、「なんでも相談室」設立のため 一本化が望ましい
保護者アンケート 質問内容を検討し、作成、E 中間テストの結果とともに保護者に送付	*3外部委託 統括:主事クラス
7月	
保護者アンケートの回収:保護者懇談会	
8,9月	
保護者アンケートの集計	
10月	
学生アンケート 1~5年対象のアンケート検討、作成	*41~5年生対象 業者のメンタルヘルスチェック POMS,UPIテスト、J-SACL etc.
11月	
学生アンケート実施 結果をクラスごとに検討 各担任に報告、内容についての話し合い	
*1 ここ数年実施している記名式のアンケートは、「しじめ」や「悩み」を教い上げる手段として、担任にも浸透してきています。学生生活支援室本来の業務と通じるため、是非実施したい。時期については、例年通り中間テスト明けを希望します。	
*2 ここ数年の学生の学力低下のため、教務の方で、非常勤講師による補習や「なんでも相談室」等の対策が取られてきています。以前は、成績不振者に対してそのような受け皿がなく、学生の悩みの多くが成績不振からきているものだったために、学生生活支援室で専攻科生の協力を得て「勉強部屋」を運営してきました。昨今の実情をふまえて、そろそろ学校として一本化してもいい時期きたのではないかと考えます。	
*3 保護者の要望や質問は多岐にわたるため、どこにも属さない学生生活支援室が実施してきました。その処理に関しては多大な労力がかかることもさることながら、「特定業務担当」という学校全体を考えた動ける担当者が見つけられなかったことを機に、学校が必要とするアンケート内容なり分析を専門業者に頼んだほうが良いと考えます。	
*4 例年、高専祭明けに悩みを訴える学生は多い傾向にあります。しかし、全学年となると作成、集計に時間がかかり、学生に反映する時間が限られるため、業者への依頼を希望します。学生自身が自分を見つめなおす機会にもなると思います。	

(出典 学生生活支援室資料)

(分析結果とその根拠理由)

学生に対しては、適切にガイダンスを整備し実施している。学生の自主的学習を進める上での相談・助言のための窓口の整備や、勉強会が企画され実行されている。また保護者に対しては授業参観と学科説明会を実施し、学習の状況説明を行うとともに学生指導に関する相談を受けたり協力依頼等しており、ガイダンスの適切な実施と相談・助言の体制が整備され機能している。

観点7-1-②： 自主的学習環境及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。


(観点に係る状況)

自主的学習環境としては，図書館，総合情報センター，各クラスのホームルーム，寮食堂，学科ごとの演習室などが整備されている。

図書館は，閲覧スペース，検索用のパソコンブース，雑誌コーナー，英語多読コーナー，特別コーナー，新着図書コーナーが設置され，学生の便宜を考慮し，平日は20時まで，土日も9時から16時まで開館され，有効に機能している(資料7-1-②-1，2及び後出資料8-2-①-7)。

資料7-1-②-1

図書館利用案内



▶▶ 学外者向け利用案内

- ・本校図書館は一般の方にも公開しており、希望があれば図書の貸出サービスも受けられます。
- ※研究室へ長期貸出中の図書や、帯出禁止資料等、貸出に応じられない場合もあります。ご了承ください。
- また、受験勉強等の目的での机のみの利用はご遠慮願います。
- ・一般利用者の方が、図書貸出カードの交付を受けようとするときは、[図書館利用願](#)に身分を証明できる書類等(免許証、保険証)を添えて申請してください。
- ・[交通案内](#) (アクセスマップ)
- ・建物配置図 [こちらの図](#)の16番の建物の2階です。
- ・利用案内パンフレット(PDF)のダウンロードは[こちら](#)

開館時間	平日 8:30-20:00 ただし、夏季、冬季、春季の長期休業中は17:00まで
	土・日 9:00-16:00 ただし12:00~12:45は職員の昼休みのため一時閉館
休館日	祝日、振替休日、年末年始、夏季、冬季、春季の長期休業中の土・日曜日、年末・年始(12月28日から翌年1月4日)
貸出	1人、同時に5冊まで、2週間 貸出の際には、学生の場合は学生証、教職員の場合は教職員証が必要
蔵書検索	蔵書の検索はこちら (学外からもアクセス可能)

(出典 本校公式ウェブサイト)

図書館利用統計

資料3

平成21年度図書館利用実態統計

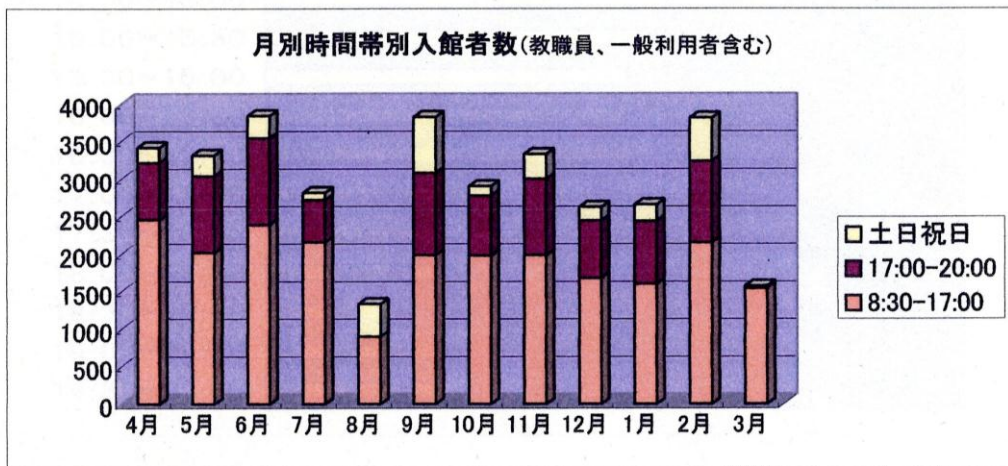
2010年3月31日現在

蔵書 ※教職員が研究用で購入した図書・雑誌を含む

1: 蔵書冊数	76,478	(うち洋書冊数)	16,565
		(うち開架冊数)	38,123
2: 年間受入図書冊数	1,020	(うち学生用)	461
3: 年間受入雑誌タイトル数	112	(うち学生用)	33

サービス

1: 開館日数	307	(うち休日開館)	73
2: 入館者数	35,434	(うち学外者)	131
3: 貸出冊数	9,933	(うち学生)	9,337
4: 相互貸借(ILL)	155	※本校に所蔵がない資料を他の図書館から取寄せた件数	



開館時間 平日 8:30-20:00
 (長期休業中および授業のない日は8:30-17:00)

土日祝日 9:00-16:00
 (長期休業中および定期試験終了直後の日曜日は臨時閉館)

(出典 平成 22 年度 7 月 図書委員会資料)

また、図書購入に際しては、学生の希望を受け付けているほか、教員からの推薦図書も積極的に購入している。総合情報センターは、第1演習室に50台、第2演習室に25台、雑誌閲覧室に6台の端末が整備されている。利用時間は、平日の8時半から17時までとなっているが、授業で使用されていない時にはいつでも利用することができるようになっている。また、学内のほぼ全域で無線LANシステムが整備され、インターネットへの接続が可能な状況となっている。それにより、e-learningシステムによる学生の学習支援がより円滑に行われるようになった（資料7-1-②-3及び後出資料8-1-②-4, 6）。なお、平成23年度よりeラーニング環境をBlackBoardから費用負担の無いmoodleに変更した。

寮においては、学生の自主的学習支援活動として寮食堂が有効に活用されマテカが実施されている（資料7-1-②-4）。

厚生施設、コミュニケーションスペースとしては、尚友会館（資料7-1-②-5）、課外活動用各施設（資料7-1-②-6）、講義棟のリフレッシュコーナー等が整備され、学生や教職員に利用されている。

総合情報センターは日々の利用計画をWEB上やセンター入り口にて公開し、学生の自主学習に便宜を図っている（資料7-①-②-7）。教室以外からも随時自主学習が可能な環境を公開し、語学の自主学習等に役立っている（資料7-1-②-8）。

資料7-1-②-3

e-learning システムへのアクセス状況

NCT Blackboardのレポート

取得期間: 2008/03/07 19:57:43-2011/02/24 01:57:22

木 4月 07, 2011 - 15:45:51に生成

統計の概要

サマリー

サマリー

ヒット数	
総ヒット数	34,374,196
訪問者ヒット数	34,374,196
スパイダーヒット数	0
平均ヒット数/日	31,681
平均ヒット数/訪問者	277.30
キャッシュあり要求	16,472,484
失敗要求	118,746
ページビュー数	
総ページビュー数	2,240,548
平均ページビュー数/日	2,065
平均ページビュー数/訪問者	18.07
訪問者数	
総訪問者数	123,960
平均訪問者数/日	114
総固有IP	21,660
バンド幅	
総バンド幅	259.33 GB
訪問者バンド幅	259.33 GB
スパイダーバンド幅	0 B
平均バンド幅/日	244.75 MB
平均バンド幅/ヒット数	7.91 KB
平均バンド幅/訪問者数	2.14 MB

(出典 総合情報センター)

マテカの概要

平成23年度マテカ執行部 活動概要

§1 経過

H21	11月	第4代マテカ執行部長決定(3代C3上野→4代E2松永)
	↓	引き継ぎ
H22	3月	寮生リーダー研修(特別参加) ・①ホワイトボード作成 ・②マテカプリントデータベース化開始
	4月～	平成22年度マテカ執行部本格的活動開始 ※ 常時活動→(常)、特別活動→(特) ③マテカ説明会(特) 200人 ④マテカおためし期間(特) 50人
	5月～6月	⑤前期中間マテカ期間(常) その後は平均10～20程度で次第に減少傾向
	6月	⑥全寮対象アンケート調査(特)
	9月	⑦前期末マテカ期間(常) ⑧鬼テスト(特)
	11月	⑨後期中間マテカ期間(常) 減少 ⑩第5代マテカ執行部長決定(4代E3松永→5代C2中村[長]M2堀口[補佐])
	12月	⑪編入学指南(特)
H23	2月	⑫学年末マテカ期間(常)(現在進行中)
	2月一杯	平成22年度マテカ執行部活動終了
	その他活動	⑬金曜会(常)(平成23年1月21日から導入) ⑭マテ会議(常)(不定期→マテカ長が必要だと思ったら行う) ⑮各種マテカ(常)(授業型マテカや自習型マテカ)

§2 各活動について

①ホワイトボード作成(写真:P1000134～P1000137)

寮生への連絡や一般寮生からの情報収集(授業やマテカプリントのリクエスト等)のために食堂にあるホワイトボードをひとつ借りてつくりました。祭り(高専祭、寮祭など)の前はほとんど動きがありませんが、テスト前になるとどっとリクエストが集中します。

写真は2月8日現在のホワイトボードの様子です。⑫学年末マテカ期間が進行中ということでシフト表が掲示されています。(P1000137)

写真にはありませんが、普段はマテカクイズというクイズコーナーを設けています。(週1更新)

食堂に並ぶ間、楽しんでもらうこととホワイトボードに注目してもらうことがねらいです。わかった人はその場でホワイトボードに答えを書き込むことができるようになっています。ほとんどの場合、出題した次の日には答えられています。

<例> 次の英文を四字熟語になおせ「A place for everything and in its place」 答え「適材適所」
(難)半径rの5次元の球の体積を答えよ 答え「 $8\pi^2r^5/15$ 」←ちなみに出題3日目です。

沼津高専学寮内組織 マテカ執行部

§0 マテカの由来

「マテカ」とは英語の「数学」を表す言葉“mathematics”が由来となっています。

沼津高専はいわゆる「高専」であり、「数学」はどの学科であれ非常に高いレベルの教養を受けます。もちろん沼津高専に入学する人には数学が好きな人が多いです。そのため、私たちの組織は他の科目でなくマテカ(=「数学」)と名付けられることになりました。

§1 マテカ執行部とは

～組織の目的～

マテカ執行部(以下マテカ)は沼津高専学寮の寮生の勉強面をサポートする組織です。勉強に困難を感じている学生や自ら進んで勉強をしようとする学生の力になり、「学ぶ楽しさ」「解ける達成感」を伝えています。

～構成～

マテカは寮生の中からボランティアとして募った学生のみで構成されています。これは、先生と生徒の関係でなく、先輩と後輩というより近い関係で勉強を教えることができる強みにつながっています。マテカに属する寮生はマテカ執行部員(以下マテカ員)と呼ばれます

～ポジション～

沼津高専学寮内の組織でありながら、寮生活の中心である寮生会とはほとんど独立しています。そのため、運営費用の点を除く運営・管理はすべてマテカ員で行っています。このことは他の役員と大差はありません。

§2 マテカ執行部の経過

マテカはまだできて間もない組織であり、マテカ執行部長(以下マテカ長)は私で4代目となります。

マテカのはじまりは、初代マテカ長の倉田将輝さん(E'科75期、寮長からマテカ長になる)がより学生間で教え合う場をつくらうとしたことがきっかけです。

そして、この数年間交替りを交え、試行錯誤し組織としての輪郭を形作ってきています。

§3 活動

現在、マテカは主に次の活動を行っています。

- a. 補習室(授業型マテカ)
- b. 自習室(自習型マテカ)
- c. 演習プリントの作成・提供

a. 補習室(授業型マテカ)

マテカ員が希望する寮生に対して、勉強を教えます。(=授業をします)各々自分なりの教え方で授業をします。これは勉強を教えられることだけでなく、教える側も復習や新発見ができます。

b. 自習室(自習型マテカ)

自習できる環境を提供します。質問を受け付けるマテカ員が待機していて、気軽に質問をすることができます。

c. 演習プリントの作成・提供

学校の授業と対応する分野の問題を提供するためのプリントを作成しています。専門分野は問題が少なく、テキストにレベルにあった問題がないときもあります。そのようなときに重宝します。

作成：平成22年度マテカ執行部長 電気電子工学科3年 松永信之介

(出典 寮生会)

福利施設（尚友会館）の概要

資料7-1-②-5

[HOME](#) > [学校案内](#) > [施設案内](#) > 尚友会館



▶ [図書館](#) ▶ [総合情報センター](#) ▶ [地域共同テクノセンター](#) ▶ [機械実習工場](#) ▶ [尚友会館](#) ▶ [学生寮](#)

尚友会館は、学生及び教職員の福利厚生を図ると共に、学生の課外活動を育成し、学生生活を豊かにすることを目的に建設された。

構造は、鉄筋コンクリート二階建てで、延べ面積は 723 m²である。

会館には、食堂・売店・理容室があり、学生・教職員の食事等に利用されている。



ロビー

食堂



売店

理容室

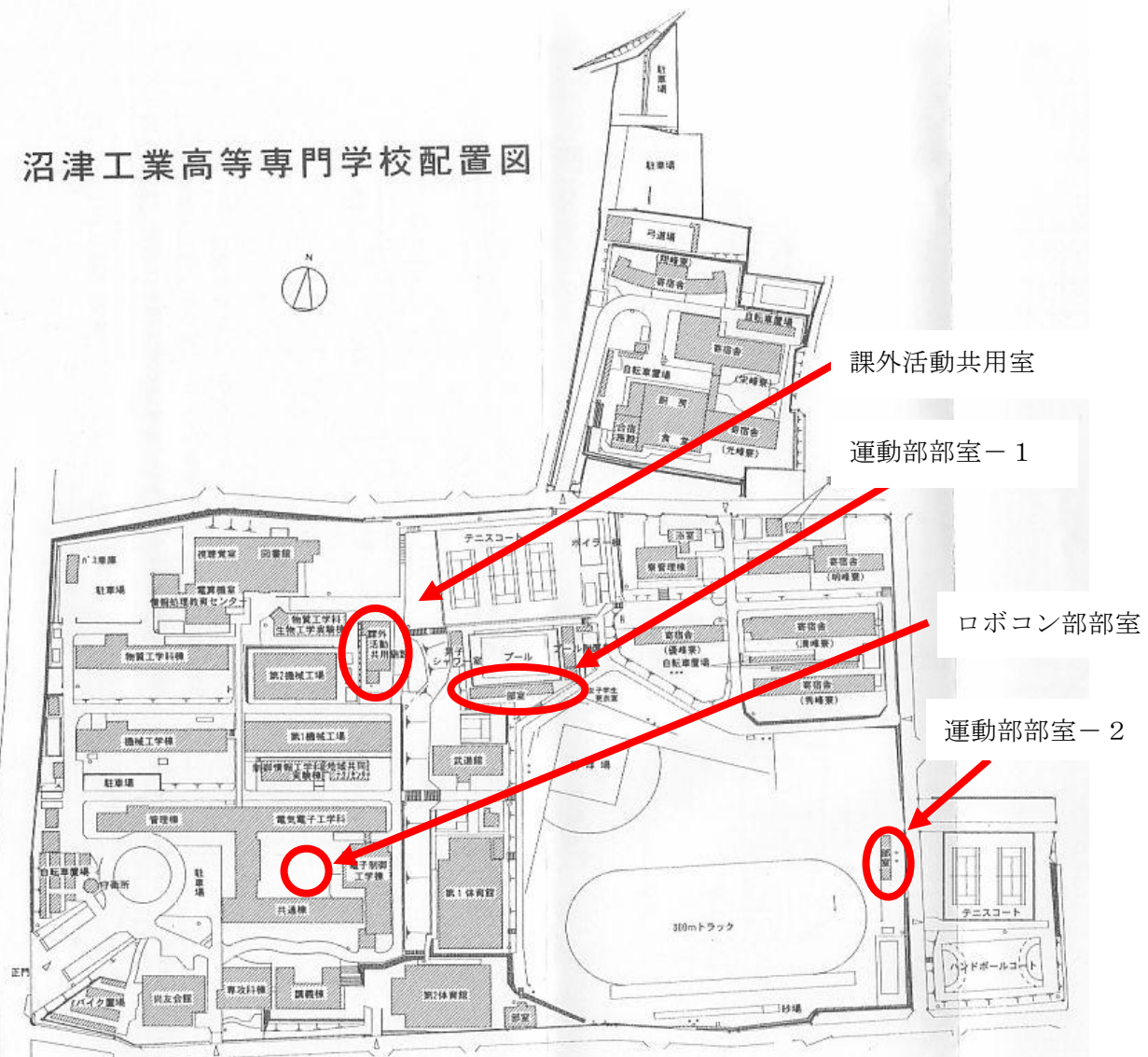
(出典 本校公式ウェブサイト)

項目	営業日数	平成 22 年度 学生食堂利用状況							
		A 定食	B 定食	丼	パスタ	カレー	蕎麦等	ラーメン	計
4 月	21	634	273	401	56	338	332	274	2308
5 月	18	645	244	376	41	271	341	159	2077
6 月	22	688	266	449	42	272	430	178	2325

(出典 尚友会館内学生食堂の利用実績)

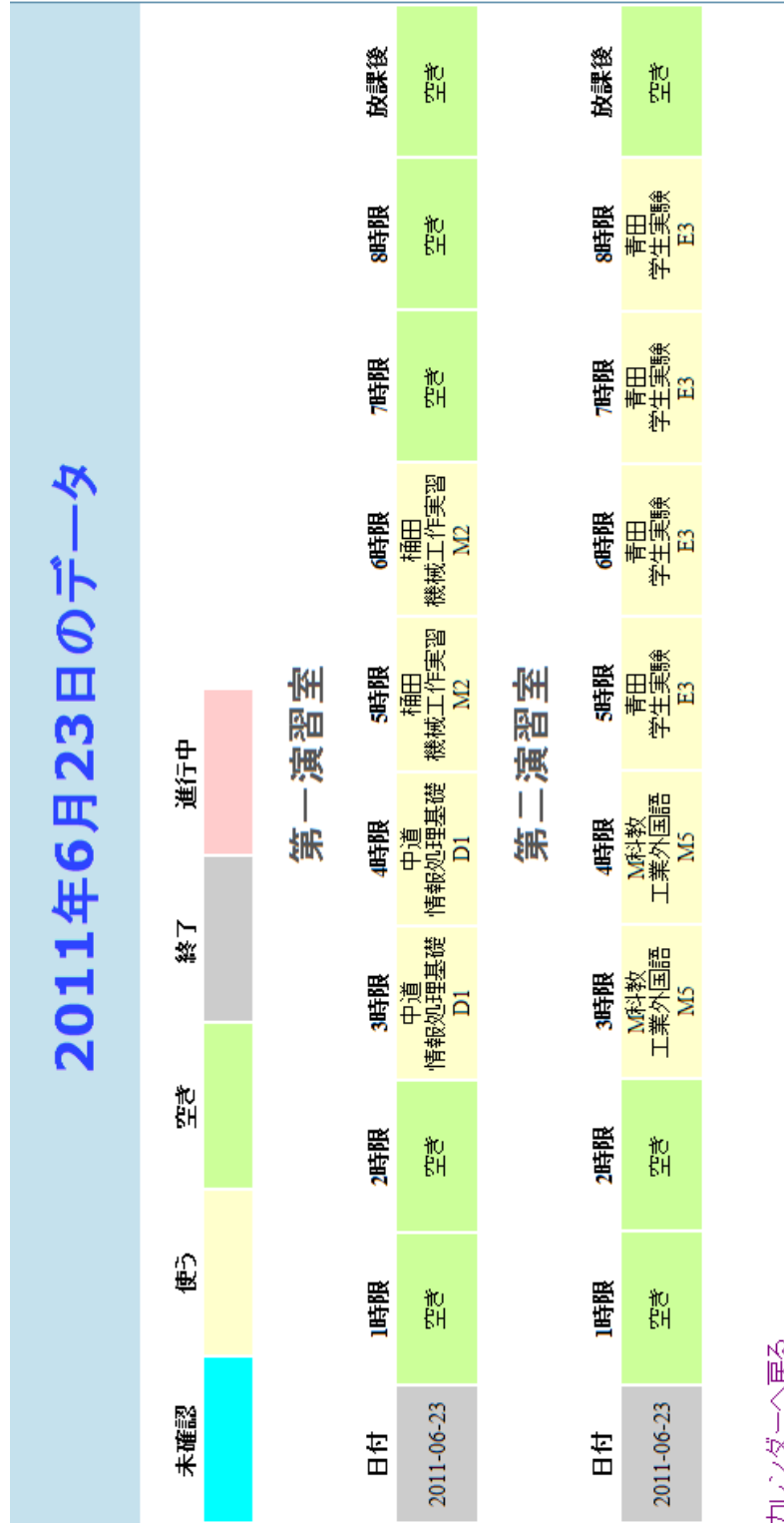
課外活動用各施設の概要

沼津工業高等専門学校配置図



(出典 クラブ顧問会議資料)

総合情報センターの日々の利用計画



(出典 総合情報センター資料)

語学の自主学習環境



COCET3300について

機能の概要

新規ユーザー登録

学習画面へのログイン



[平成23年度団体利用申込のご案内はこちらです](#)

COCET3300モバイル版ご利用に関して

携帯電話の設定で「ドメイン指定受信」「シークレットコード指定」「メール一括拒否」「メール指定受信」など一部のメールが届かなくなる設定になっていないかをご確認下さい。

また「cocet@oujac.jp」を受信できるよう設定してからモバイル版利用設定を行うようお願いします。

COCET3300(コセツト3300)とは、全国高等専門学校英語教育学会(COCET)の会員である、高専英語教員の有志グループによって作成された、理工系学生のための3300語からなる語彙リストです。これは、全単語につけられた日本語の訳語に加え、関連語句・解説も示されている、理工系としては他に類のない内容のものです。

(出典 本校公式ウェブサイト)

(分析結果とその根拠理由)

図書館の開館時間が十分に確保され、有効に活用されている。総合情報センター、マルチメディア教室、各学科演習室において十分なPC端末数が準備されているのみならず、無線LANシステムの拡張により学内どこからでもe-learningシステムにアクセスし、自学自習することができる。また、寮生には、寮食堂を利用した学生主体の勉強会マテカが十分活用されている。学生生活に潤いを与える厚生施設として食堂や部室等が完備され、十分活用されている。

観点 7-1-③： 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。また、資格試験や検定試験の受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

学生のニーズを把握する体制としては、科目担当教員、クラス担任・副担任がまずはその窓口となっている。何でも科目相談室として教務関係教員の学習支援チームが学生の相談に乗る中で、学生支援が必要と思われる学生に対して、平成23年度は積極的に学生と面接してニーズを把握している(資料 7-1-③-1)。

資料 7-1-③-1

学習支援会議

学習支援会議 H23. 5. 17 (火) 16:30-18:20
於 第3会議室
出席者 村松, 後藤, 大庭, 松澤, 勝山 (記)

(1) 校長リーダーシップ経費の申請について
教務小委員会で提案された、水口先生作成の問題集解答編の印刷製本を校長リーダーシップ経費として申請するかどうかを話し合った。問題点として、著作権、使い方の2点がある。
市販問題集の解答編を教室で教師が配布するのは認められているようだが、学校で大々的に印刷製本するのは問題になるかもしれない。出版社に問い合わせしてみてもという意見もあったが、学生がネットに掲載してしまうことなども考えられるため、消極的な意見が大半だった。
担当教師の指示と解答の書き方が異なる場合もあり、使用法についても、原稿を見てみないと何とも言えない。総合的に判断して、今回あわてて申請するのは見送ろうということになった。

(2) 面談の集約
各面談者から、面談の様子が報告された。要旨は以下のとおり(学生名は伏せますが、前回送った面談者リスト順です)。

- ・副担任が面倒見ている。勉強の習慣づけ等を行なっている。
- ・春休み中に塾に。少しわかるようになって自信をつけた。
- ・呼んだときは前向きだったが、その後問題行動も。
- ・全くやる気が出ていない。進路変更を模索中。担任が本人・保護者と話し合う。
- ・やさしい問題を繰り返し解くことから始めてみる。
- ・勉強の習慣づけを行なう。遊ぶくせがあるので本人の決心だけで大丈夫かどうか・・・。
- ・再評価数学の面倒を見るだけで精一杯。
- ・進路変更の意思が固い。具体的な進路をすでに決めている。
- ・元担任が綿密に面談していて、すでにやるべきことを自覚している。このままいけば大丈夫・・・と思うが。

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

学生支援室では、毎年学生アンケートを実施し、その中で学生のニーズを把握している(資料7-1-③-2)。資格試験や検定試験の支援は、募集要項が公開されると、関係部署からその都度案内している(資料7-1-③-3)。特に工業英検は本校を会場として実施している(資料7-1-③-4)。TOEIC IP試験は3, 4年生全員を対象に本校を会場にして受験させ、TOEIC公開試験については、本校は賛助会員となっており、割安の受験料で学生が受験できる体制を整備し、多くの学生が受験している(7-1-③-5)。TOEICは、成績に応じてを外部取得単位として認定することで、学習意欲を促進し、600点を越える学生もいる(資料7-1-③-6, 7)。ドイツ語検定は数こそ少ないが、毎年数人の合格者が出ている(資料7-1-③-8)。

資料7-1-③-2

学生アンケート依頼文書

Subject: 支援室:学生アンケート実施のお願い**From:****Date:****To:**

1, 2, 3年の学級担任の先生方

cc : 教員のみなさま

学生生活支援室の です。日頃は支援室の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、学生生活支援室では今年度も「学生アンケート」と称する、個々の学生が抱えている悩みを吸い上げることを主目的とするアンケートを、1, 2, 3年生を対象に実施したいと思います。

今年度はこの6月にQ-Uテストを実施するクラスも多いことと思いますので、そのようなクラスにおいては、Q-Uと一緒に実施して頂けるように、準備しているところです。

具体的な事項については後日ご連絡させていただきますが、先ずはご協力をお願いしたく、メールを出させていただきました。

併せて、今年度のアンケート用紙(案)を添付ファイルでお送りします。準備時間の都合上、今年度分への反映は十分にできないかもしれませんが、もしもご意見があればお寄せください。

(出典 本校学内メール)

アンケート用紙より抜粋

2. 将来の目標に向けて、普段からあなたが心がけていることや、努力していることは何ですか。あてはまるものに○を付けてください。[複数回答可]

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| a) 学校を欠席しない | f) 図書館などで専門書に親しむ |
| b) 予習・復習をする | g) 英語に力を入れている |
| c) 授業に集中する(寝ない) | h) 体力づくりをしている |
| d) ノートをしっかりとる | i) (実験などの)グループ内での連携を大切にしている |
| e) 新聞を読む | |

3. あなた自身が困っていることや悩んでいることがあれば書いてください。もしも担任に知られたくないことがあれば、その旨を書いてください。

4. あなたの周りに、困っている人や悩んでいる人はいませんか。いればその内容について教えてください。可能であれば名前も書いてください。

5. その他、学生生活支援室の教員に伝えたいことがありますか。あれば書いてください。

6. この調査に書きづらく、今回書けなかった内容がありますか？（はい・いいえ）

もしも書けない内容がある場合は、相談BOXへの投書も利用してください。
相談BOXは学生係前、学生生活支援室前、一般化学実験室前の3カ所にあります。

ご協力、ありがとうございます。

(出典 学生生活支援室資料より抜粋)

資料 7-1-③-3

情報処理技術者試験案内



(出典 総合情報センター内掲示板)

資料 7-1-③-4

工業英検案内通知

工業英検の案内

工業英検 2級・3級・4級の受験申し込みを受け付けます。
 受験希望者は **大庭 (電子制御工学科棟1階)**、
 または **大久保 (制御情報工学科棟4階)** まで、
 検定料を添えて申し込んでください。

申込〆切は5月10日(火) 13時です。
< 期限厳守で御願います >

第87回工業英検

試験日時: 平成23年5月29日(日)

4級	9:20 (試験時間 60分)
3級	10:40 (" 70分)
2級	12:10 (" 100分)

試験会場: 本校 (選択制教室 I を予定)

検定料: 4級	2,000 円
3級	4,600 円
2級	6,400 円

参考
 本検定に合格した場合、申請すれば本校の単位としても認められます。
 ただし平成16年度以降の入学生は、4、5年次で4級に合格しても
 本校の単位としては認定されません。3級以上については学年を問いません
 (学生便覧の「技能審査の合格に係る単位修得の認定について」を参照)。
 合格発表は6月21日の予定です。

なお、受験生の総数が10名に満たない場合は本校での実施は中止されます。ご承知おき下さい。
 本年度の本校での工業英検の実施予定は、**5月29日(2・3・4級)(今回)**、
7月30日(3・4級)、**11月13日(2・3・4級)**、**1月28日(3・4級)**です。

(出典 工業英検の募集案内ポスター)

資料7-1-③-5

TOEICの公開試験申し込み

Subject: 第162回のTOEIC公開テストの受験申込み者の名簿確認
From:
Date: Thu, 28 Apr 2011 12:32:36 +0900
To:
CC:

各位

です。

今日(4/28)の午前の郵便で「第162回のTOEIC公開テストの受験申込み者32名」の名簿が送られてきました。申込書番号とカタカナ氏名で、32名の受験登録を確認しました。変更などがあれば、5/6までにTOEIC東京業務センターに連絡することになっています。

いまのところ、変更等はないので、何も連絡はしません。
登録と同時に、受験料の支払い義務が生じますので、ご了解下さい。

次の郵便で、受験料支払いの請求書が来ます。集金日は、前回連絡致しました通りです。マルサン書店の方と打合せして、何か連絡があれば、お知らせします。

In message "Fwd: TOEIC受験スケジュールの集金日変更について", Toshio Funada wrote
on Mon, 25 Apr 2011 17:25:07 +0900

各位

です。

今年度の「TOEIC公開テストの団体受験の受付の予定」を添付fileのようにしたいと思います。手続きなど、間違い等ないように、よろしくお願いします。
受験料の集金は受験申し込みの締切日となっています。マルサン書店の方に集金をお願いするので、集金に関して日程の調整や手続きの変更等があり得ますので、予め、ご了解下さい。

第162回のTOEIC公開テストの受験申込み者は、32名でした。内2名は、手渡しでの申し込みをせず、封筒に切手を貼ってありました。受験申込みで勝手なことをしないよう、よろしくご指導をお願いします。

(出典 本校学内メール)

TOEIC 申込書

TOEIC®テスト/TOEIC Bridge®IPテスト 申込サイト



お申し込みが完了いたしました。

申込番号

印刷する

お申し込み時にメールアドレスをご入力いただいた場合には、ご指定のメールアドレス宛に申込完了通知メールが送信されますのでご確認ください。また申込番号は、お問い合わせの際に必要となりますので、メールアドレスをご指定されなかった場合には印刷して保管してください。

お申し込み終了時には、画面右下の「お申し込みを終了する」ボタンを必ず押してください。試験官業務(有料)をご希望の場合は、画面右下の「試験官業務先入力」ボタンより試験官業務先情報を入力してください。

試験実施団体ID	
試験実施団体名称	沼津工業高等専門学校
試験申込団体情報	
会社名・団体名	沼津工業高等専門学校
事業所・支店名	
部課名	学生課
郵便番号	410-8501
住所	沼津市大岡3600
電話番号	055-926-5732
実施予定日	西暦2010年10月23日

(出典 学生課作成資料より抜粋)

資料7-1-③-7

技能審査合格に係る単位習得の認定

H23 技能審査合格に係る単位修得の認定

学科	学年	番号	学生氏名	技能審査名	級・点数	合格年月日	新規
				工業英検	4級	2011年2月28日	
				工業英検	4級	2011年2月28日	
				工業英検	4級	2011年2月28日	
				工業英検	4級	2011年2月28日	
				工業英検	3級	2011年2月28日	
				TOEIC	740	2011年1月30日	
				TOEIC	925	2010年10月23日	

(出典 平成23年度教務委員会資料より抜粋)

資料7-1-③-8

ドイツ語検定合格者の推移

ドイツ語検定

年度	合格者(人)
平成19年度	4
平成20年度	4
平成21年度	3
平成22年度	7

(出典 教務委員会資料より作成)

豊かな国際感覚とコミュニケーション能力の養成をより図り易くする目的で、平成22年度より国際交流委員会規則を全面的に改定し、機能的な体制を整えた(資料7-1-③-9)。平成22年度の語学研修はイギリスで2週間の研修を実施した(資料7-1-③-10)。平成23年度は4月25日に説明会を開催し、9月4日～18日の日程で、シアトルでの実施が確定している(資料7-1-③-11)。

専攻科課程においても専攻科長が窓口となり、国際交流委員会と連携をとりながら、ISTS等の国際会議や高専機構の海外インターンシップ等に応募する学生の支援をしている。

国際交流委員会議事録

平成 22 年度 第 1 回国際交流委員会議事要録

日 時 平成 22 年 11 月 16 日 (火) 16:00 ~ 16:45
 場 所 校 長 室
 出 席 者 柳下校長、大島副校長 (教務主事)、蓮實校長補佐 (学生主事)
 遠藤校長補佐 (寮務主事)、大久保校長補佐 (特定業務担当)
 小林学科長、高野学科長代行、舟田学科長、長谷学科長、押川学科長
 西垣教養科長、奥野事務部長、布施総務課長、山添学生課長

議 題

1. 国際交流委員会規則の全部改正について
 大久保校長補佐から、資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 国費留学生の奨学金支給期間延長申請について
 大久保校長補佐から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 東海地区国立高専留学生交流会について
 大久保校長補佐から、資料 3 に基づき説明があり、外国人留学生及び引率教職員の参加について了承された。
4. シンガポール・ポリテク短期留学プログラムについて
 大久保校長補佐から、資料 4 に基づき説明があり、今後、短期留学生の受入要請があった場合は、可能な範囲内で出来るだけ受入を行う方針としたい旨の提案があり、了承された。

報告事項

1. 英国語学研修&異文化体験について
 大久保校長補佐から、8 月に実施された海外研修の報告書を取り纏め、教職員限定 HP に掲載した旨の報告があった。
2. 英語&日本語スピーチコンテストについて
 大久保校長補佐から、資料 5 に基づき、沼津国際交流協会主催のコンテストにおいて本校外国人留学生が優秀な成績を収めた旨の報告があった。
3. ドイツ・ニュルンベルク応用科学大学との学術交流協定締結交渉 (中間報告) について
 大久保校長補佐から、外国大学との交流協定締結交渉の進捗状況について報告があった。
4. 留学生経費について
 学生課課長補佐から、資料 6 に基づき、今年度の執行状況について報告があった。
5. 平成 23 年度 受入予定留学生 (国費) について
 学生課課長補佐から、資料 7 に基づき、来年度の国費受入予定留学生 (昨年度受入決定済) について報告があった。
 なお、マレーシア政府派遣留学生については、例年 1 月頃マレーシア大使館から来年度の留学生の受入依頼があるため、連絡があり次第改めて委員会で受入の可否について審議することとした。
6. その他
 私費留学生、マレーシア政府派遣留学生及び海外インターンシップなどの動向について、

(出典 交際交流委員会議事録)

語学研修報告書(抜粋)

第11回沼津高専海外研修

平成22年度 沼津工業高等専門学校 イギリス語学研修&異文化体験

報告書

～本物の英語を学び国際人への第一歩を踏み出そう！～



研修地：イギリス・ロンドン郊外（イーストボーン）
研修期間：2010年 8月8日（日）～ 8月23日（月）（16日間）

（出典 語学研修の報告書）

語学研修募集ポスター

平成23年度 海外研修

アメリカ・シアトル 語学研修&異文化体験

【平成23年9月4日(日)~9月18日(日) 15日間】



発見と感動へのチャレンジ!

研修地：アメリカ/シアトル 費用：395,000円 (10人以上参加の場合)

募集説明会 4月25日(月) 16:30~ 図書館1階 第2視聴覚教室

途中からでも遠慮なく参加してください。



監修：沼津工業高等専門学校
旅行企画・運営：株式会社 アイエスエイ 東海支社
(観光庁長官登録旅行業第256号・日本旅行業協会正会員・留学・語学研修等協議会正会員)
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-3 TF広小路本町ビル6F
TEL:050-5515-1829 FAX:052-222-8907

(出典 語学研修の募集案内ポスター)

(分析結果とその根拠理由)

科目担当教員、クラス担任・副担任をはじめ、教務関係教員による学習支援チームや学生生活支援室が積極的に学生ニーズの把握に努めている。資格試験や検定試験の受験、外国留学の支援体制が整備され、機能している。検定試験は外部修得単位認定への申請が多くあることやTOEICでは600点を越える学生も出ていること等から、支援体制が整備され、機能していると判断する。

観点7-1-④： 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備されているか。また、必要に応じて学習支援が行われているか。

(観点に係る状況)

本科の成績不振者へは専攻科生による学習支援や何でも科目相談室を設けて、参加を促している。特に1年生に対しては、定期試験毎に成績不振者を調べ、数学の補習を受講させている(資料7-1-④-1, 2)。また副校長(教務主事)からも随時、学習支援を要請する通知がなされる(資料7-1-④-3)。

資料7-1-④-1

数学補習対象者の出欠状況

平成22年度 第1学年 数学補習 出席状況 (出席:○ 欠席:× 遅刻:遅 早退:早)

回数	実施日				クラス 出席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	月	日	曜	実施時間		M1	M1	M1	M1	E1	E1	E1	E1	D1	D1	D1	S1	S1	S1	G1	G1
	補習内容																				
第1回	6	30	水	14:50~16:20	2次方程式・2次関数・平方完成	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
第2回	7	7	水	14:50~16:20	2次関数のグラフ・最大値・最小値	○	遅	遅	遅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	遅
第3回	7	21	水	14:50~16:20	2次関数と不等式	○	遅	×	×	○	○	×	○	×	○	○	遅	遅	遅	×	×
第4回	9	1	水	14:50~16:30	指数・指数関数・指数方程式・指数不等式	○	×	×	×	遅	遅	遅	遅	○	○	○	○	○	○	○	×
第5回	9	8	水	14:50~16:20	対数・対数関数・対数方程式・対数不等式	遅	遅	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	遅	×	×	×
第6回	9	15	水	14:50~16:20	三角比・三角関数	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×

平成22年度 後期 第1学年 数学補習 出席状況 (出席:○ 欠席:× 遅刻:遅 早退:早)

通算 回数	実施日				クラス 出席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	月	日	曜	実施時間		M1	M1	E1	E1	E1	E1	E1	D1	D1	D1	D1	S1	S1	S1	G1
	補習内容																			
第7回	11	4	木	16:30~18:00	基礎数学 第2章 方程式と不等式 §1 方程式 (29~45ページ)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8回	11	7	木	16:30~18:00	基礎数学 第5章 三角関数 §1 三角比とその応用 §2 三角関数 (111~139ページ)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9回	11	18	mh	16:30~18:00 (2名の質問あり 18:25終了)	基礎数学 第5章 三角関数 §2 加法定理とその応用 (140~149ページ)	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	遅

平成22年度 後期 第1学年 数学補習 出席状況 (出席:○ 欠席:× 遅刻:遅 早退:早)

通算 回数	実施日				クラス 出席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	月	日	曜	実施時間		M1	M1	M1	E1	E1	E1	E1	D1	D1	D1	S1	S1	S1	S1	S1	S1	G1
	補習内容																					
第10回	1	6	木	16:30~18:00	基礎数学 第2章 方程式と不等式 §2 不等式 52~54ページ	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第11回	1	13	木	16:30~18:10	基礎数学 第6章 場合の数と数列 §1 場合の数 172~184ページ	○	遅	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×

(出典 数学補習資料出席簿)

数学補習課題(抜粋)

平成22年度 後期後半 第05回(通算第14回)基礎数学 1年数学補習
プリント No.1 第6章 図形と式 §1点と線 150~159ページ

平成23年2月3日(木) 15:30~18:00

学科・学年() No() Name()

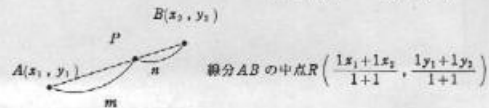
Keypoint !! 2点間の距離

- 2点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ の距離 $AB = \sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2}$
- 原点 O と $B(x_2, y_2)$ との距離 $OB = \sqrt{x_2^2 + y_2^2}$

Keypoint !! 内分点と外分点

2点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ があるとき、

- 線分 AB を $m:n$ に内分する点 $P\left(\frac{nx_1 + mx_2}{m+n}, \frac{ny_1 + my_2}{m+n}\right)$



- 線分 AB を $m:n$ に外分する点 $Q\left(\frac{-nx_1 + mx_2}{m-n}, \frac{-ny_1 + my_2}{m-n}\right)$

この外分点の座標を求める公式は、 m と n との大小関係なく求めることができるが、 m と n との大小によって、外分点の位置が変わる。



Keypoint !! 1点を通る直線

- 1点 (x_1, y_1) を通り、傾き m のある直線 $y - y_1 = m(x - x_1)$
- 1点 (x_1, y_1) を通り、傾きがない直線 < y 軸に平行な直線 > $x = x_1$

Keypoint !! 2点 (x_1, y_1) , (x_2, y_2) を通る直線

- 傾きがある直線 $y - y_1 = \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1}(x - x_1)$ でも $y - y_2 = \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1}(x - x_2)$ でもよい。

- 傾きがない直線 < y 軸に平行な直線 > $x = x_1$ でも $x = x_2$ でもよい。

<注> 傾きの有無にかかわらず求めることのできる公式は、次の式であるが、普通は、余り使わない。

$$(x_2 - x_1)(y - y_1) = (y_2 - y_1)(x - x_1)$$

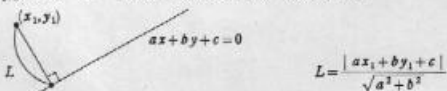
Keypoint !! 三角形 ABC の重心

- 3点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$, $C(x_3, y_3)$ を頂点とする三角形 ABC の重心 $G\left(\frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}\right)$

Keypoint !! 2直線の平行条件と垂直条件

- 傾きのある2直線 $y = ax + b$, $y = cx + d$ の平行条件
傾きが同じ つまり $a = c$
傾きのない直線 < y 軸に平行な直線 > との平行条件
 y 軸に平行な直線となり、 $x =$ 数値 となる
- 傾きのある2直線 $y = ax + b$, $y = cx + d$ の垂直条件
傾きをかけると $ac = -1$
つまり 垂直な直線の傾きは、直線の傾きの逆数にマイナスを付ければ、求めることができる。
傾きがない直線 < y 軸に平行な直線 > との垂直条件
 x 軸に平行な直線となり、 $y =$ 数値 となる。

Keypoint !! 1点と直線との距離(最短距離)



- 2点 $A(2, 3)$, $B(6, 4)$ がある。このとき、次の点の座標を求めよ。
(1) 線分 AB を $3:1$ に内分する点 P (2) 線分 BA を $3:1$ に内分する点 Q

- 線分 AB を $3:1$ に外分する点 R (4) 線分 AB の中点 S

② 次の各回いに答えよ。

- 3点 $A(3, 3)$, $B(5, -1)$, $C(1, -3)$ を頂点とする $\triangle ABC$ はどのような三角形か。

- 2点 $A(1, -1)$, $B(4, 2)$ から等距離にある y 軸上の点 P の座標を求めよ。

- 3点 $A(-5, -1)$, $B(0, 7)$, $C(a, b)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心の座標が $(-3, 4)$ であるとき、定数 a, b の値を求めよ。

(出典 数学補習教材)

学習支援要請の通知

全教員の皆様

cc.柳下校長 殿

cc.教務係 殿

教務主事の■■■■です。

学年末試験まで数週間となりました。

日頃学生の教育・指導に大変ご尽力頂いているところでありますが、この重要な時期にあたってなお一層学生を励まし、進級・卒業に向けて勉強に励むようご指導くださいますようお願いいたします。

特に低学年の留年・退学者を減らすべく、なんとか励まし頑張らせて進級させるよう御指導をお願いしているところですが、学年末試験に向けて、改めて「授業内容の重要ポイントの明示」、「事前の小テストや課題演習」、「質問受付時間の設定」、「試験準備のための勉強方法や計画の作成等に関するアドバイス」など、考えられる有効な手段を種々工夫され、事前指導をよろしくお願いいたします。

重なる面もありますが、以下の事項について特にご留意頂ければ幸いです。

- ・再評価成績の最終締め切りは1月31日（月）です。
- ・時数補修によるフォローアップをお願いします。特に5年生の就職、進学活動に伴う欠席・欠課（欠席・欠課願の提出されているもの）につき、1/5 を超えるものについては時数補修をお願いします。
- ・前期終了の授業科目で不合格になっているものについても、可能な限りフォローアップをお願いします。
- ・学年末試験に向けて学生の叱咤激励をお願いします。特に学級担任の先生方におかれましては、進級に不安のある学生の成績状況を早期に把握し、適切にご指導をお願いいたします。

以上、よろしくお願いいたします。

（出典 本校学内メール）

外国人留学生に関する全体的なことは国際交流委員会で扱い、事務的支援は主として学生課で扱っている。具体的な支援は基本的には該当クラスの担任が指導教員となって行っている。さらに、学業および生活全般についての相談相手として学生チューターを配置している（資料7-1-④-4）。1年目に当たる3年次のチューターは寮生から選出し、寮生活の面倒も見ている。日本語の授業及び補講の他、3年次に日本事情の授業を設けている。日本文化の体験のため、留学生向け授業の日本事情を担当する社会科教員が引率して近くの施設見学も行っている（資料7-1-④-5）。

編入学生への学習支援としては、編入学前の補習課題として英語、数学、物理の課題を与え、定期的に提出させる等して事前指導を行っている（資料7-1-④-6）。編入学後は、学科により異なるが、授業科目を設けて集中講義などで編入学生の学習支援を行うか（前出資料5-1-①-2, 4, 5）、必要に応じて科目担当教員が補習等を行っている。

留年生への特別な指導としては、前年度の成績を考慮して科目ごとに受講、もしくは定期試験の免除という制度を設けて、授業負担が軽くなるように配慮している（資料7-1-④-7）。2, 3年生の留年生に対しては、教務関係教員の学習支援チームが支援を行っている。

資料7-1-④-4

留学生チューター一覧

平成23年度 外国人留学生一覧							
フリガナ名	留学生学年	学科	国籍	性別	区分	指導教員	チューター
	E4	電気電子工学科	マレーシア	男	マレーシア政府派遣		E4
	C4	物質工学科	ラオス	男	国費		C4
	M3	機械工学科	マレーシア	男	マレーシア政府派遣		M3
	E3	電気電子工学科	マレーシア	男	マレーシア政府派遣		E3
	E3	電気電子工学科	マレーシア	男	マレーシア政府派遣		E3
	S3	制御情報工学科	モンゴル	男	国費		S3
	C3	物質工学科	インドネシア	女	国費		C3
	C3	物質工学科	マレーシア	女	マレーシア政府派遣		C3

(出典 学生課作成資料)

留学生の対応状況

学校としての留学生への対応

留学生向け授業（各教科での補習等を除く）

日本語（3年～5年）

すべて高澤先生（非常勤講師）担当

正規の時間割による授業のほか、ここ何年かは、土曜日に補講も実施（留学生経費による実施）

日本事情（3年・4年）

3年は佐藤と平田先生で担当、4年は野澤先生が担当

留学生の行事

見学旅行（1年に1回実施、ここ5年程度は佐藤が担当）

東海地区高専の留学生の交流会（1年に1回実施、スキー、専門学科が持ち回りで引率担当）

以下、佐藤の関係する分についてです。

日本事情（3年）

日本の文化・社会制度等について体系的に教えるというのではなく、留学生が沼津高専で学生生活を送っていく上で直面する問題等に柔軟に対応するようにしています。留学生とのコミュニケーションを取り、彼らが精神的に孤立したり、一人で問題を抱え込んだりすることがないようにと心がけており、少人数であることを活かし、会話中心の授業をしています。具体的には、調べ学習・発表形式より、日本の社会・文化・自然環境などについて学ぶことをしているほか、学校周辺地域を歩いたり、高専祭では留学生による展示をさせるなどの活動も多く取り入れている高専での展示については、その準備を日本事情の授業に組み込むことにより、各種の手続きや、多くの日本人とコミュニケーションを図ることに慣れさせることも意図している。また、学校近隣（門池公園）、下土狩駅前、三島市中心部へ行き、街並みや寺社等を見学したり、買い物などについての情報を確認した。

留学生見学旅行

留学生経費により、1年に1回、日帰りの見学旅行を実施している。2010年度は名古屋（名古屋城ほか）、2009年度は東京（浅草ほか）、2008年度は伊豆（修善寺温泉ほか）。

日本事情の授業と連携することで、単に見学するだけでなく、見学地の選定から留学生に関与させ、日本の地理等について学習させるほか、新幹線の切符の購入等も事前に各自でさせ、学割の申請の手続き、切符の種類や駅での切符の買い方について、体験的に学ばせるよう意図している。

（出典 日本事情担当者資料）

編入学生説明会についての連絡

平成22年 8 月 5 日

副校長（教務主事） 殿
 機械工学科長 殿
 電気電子工学科長 殿
 物質工学科長 殿
 数学・英語・応用物理担当教員 殿
 学生課長・課長補佐（学務担当）及び各係長 殿

校 長

平成23年度編入学生入学説明会について

標記のことについて、下記日程のとおり実施いたしますので、出席願います。
 なお、各学科からの説明及び連絡については、学科毎に実施していただくことになって
 おりますので、MM教室からの引率及び各学科会場の準備方よろしく願います。
 また、英語・数学・応用物理で課題等がある場合は、担当教員出席の上説明願います。
 合格者の確定は、アドミッション委員会（8月10日）での審議決定後ですが準備期間
 の関係上、予め準備を進めていただきますようお願いいたします。

※昨年度から、課題等の内容について、在籍高等学校に周知しております
 ので、各学科、教科目における課題（補習）内容の概要を書面にまとめ
 説明会前日までに学生課入試係へ提出いただけるようお願いいたします。

記

日 時：平成22年 8 月 23日（月）

場 所：講義棟1階 M2講義室及び共通棟3階 MM教室

日 程：

■4学年合格者

9:30～	9:40	副校長（教務主事）からの話
9:40～	10:10	事務部（学生課）からの連絡
10:10～	10:50	英語・数学・応用物理の課題等説明
		◇ 英 語（MM教室）能登路
		◇ 数 学 谷
		◇ 応用物理 住吉
10:45		学科長 MM教室集合
10:50～		各学科に移動
10:55～		各学科からの説明及び連絡 （学科毎に解散）

※入寮希望者には、終了後に寮務係で手続き等の説明がありますので、寮務係への案内をお願いします。

■3学年合格者

13:30～	13:40	副校長（教務主事）からの話
13:40～	14:10	事務部（学生課）からの連絡
14:10～	14:50	英語・数学・応用物理の課題等説明
		◇ 英 語（MM教室）能登路
		◇ 数 学 谷
		◇ 応用物理 勝山
14:45		学科長 MM教室集合
14:50～		各学科に移動
14:55～		各学科からの説明及び連絡 （学科毎に解散）

※入寮希望者には、終了後に寮務係で手続き等の説明がありますので、寮務係への案内をお願いします。

【参考】

編入学受験者数 12名（M科3名、E科3名、C科6名）

（出典 本稿学内メール）

留年生への学習支援(抜粋)

7. 3年次の留年生の再履修と科目評価について

3学年までは学年制であり、原則として、留年生は3年次カリキュラムをすべて取り直さなければならない。ただし、留年生が一般学生の時間割と同等に履修する(空き時間を作らない)という条件のもとに、一部単位制の概念を取り入れる。

1 留年時の科目履修について

留年時の科目のうち成績佳良な科目の定期試験の免除を許可し、下記の処置を取る。

- (1) 前年度に70点以上の評価を取得した者に限って、実技科目を除く科目の定期試験を、学生の願い出により、科目担当教員が免除することがある。
- (2) 前項で定期試験を免除した科目の評価は、前年度の評価とする。ただし、欠課時数は授業時数の1/5以下であること。
- (3) 定期試験免除の願い出は所定の用紙により、学級担任教員及び科目担当教員の承認を得て、副校長(教務主事)〔教務係〕に提出すること。届出期限は当該年度の4月末日までとする。

2 並列選択の科目履修について

- (1) 並列選択の科目において、前年度に選択した科目の成績が70点以上であった学生は、その科目の単位取得を認められるという条件で、今年度、他の科目を選択し受講することができる。ただし、今年度を選択した科目の欠課時数が授業時数の1/5を超える場合は、前年度の科目の単位取得は認められない。
- (2) 前項で、今年度履修した科目の成績も追加認定を受けることができる。
- (3) 願い出は所定の用紙により、学級担任教員及び科目担当教員の承認を得て、副校長(教務主事)〔教務係〕に提出すること。届出期限は当該年度の4月末日までとする。

8. 4年次以上の留年生の既修得科目の履修について

進級・卒業判定基準によって原学年に留められた者に係る、既修得科目の単位とその再履修については次のように取り扱うことができる。この内規は、留まる学年が4、5学年の者に対して適用する。

- ① 単位は、取り消されることはなく、その科目を再度履修する必要はない。
- ② 再履修しない科目の評価点・単位は、留まった学年課程修了時に、その学年で履修したものとする。
- ③ 再度の履修を希望する科目のある者は、授業開始後2週間以内に当該科目担当教員に申請し承認を得ること。承認された時点で、その科目の前年度評価点及び修得単位は取り消される。但し、評価に当たっては、前年度の評価点を勘案することができる。
- ④ 4学年に留められた者が、特に上記①により再履修を免除された授業時間帯を有効に利用する為に、5学年の授業科目を履修することができる。

この場合、授業開始後2週間以内に当該科目担当教員に申請し承認を得ること。承認された時点で、その科目の履修については、5年生と同等に規定され、科目課程修了時の評価点・単位は、5学年課程修了時にその学年で履修したものとする。

(出典 平成23年度学生便覧より抜粋)

(分析結果とその根拠理由)

外国人留学生，編入学生，成績不振者，留年生といった，異なる支援を要する学生に対して，それぞれに学習支援体制を整え，必要な支援を行っている。

観点 7-1-⑤： 学生の部活動，サークル活動，自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され，適切な責任体制の下に機能しているか。

(観点に係る状況)

学生のクラブ活動や学生会等の課外活動については，学生会会則（資料 7-1-⑤-1）に基づき組織運営され，校長補佐（学生主事）を委員長とする学生委員会によって指導，監督及び主催がなされている。

資料 7-1-⑤-1

学生会会則(抜粋)

1. 学生会会則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 本会は沼津工業高等専門学校学生会と称する。
 第 2 条 本会は本校在学学生全員（以下会員と呼ぶ）をもって構成する。
 第 3 条 本会の運営はすべて民主主義の精神に基づいて行い、自主的活動のもとに、豊かな教養と健全な趣味を培い、個性の伸長を図るとともに、会員相互の親睦を図り、心身の健康を助長し、将来よき社会人としての資質を養うことを目的とする。
 第 4 条 本会の議決事項は、学校長の承認を得てから執行する。
 第 5 条 会員は、この会則に定めてある権利と義務を有する。

第 2 章 機関及び役員

- 第 6 条 第 3 条の目的を達成するために次の機関を置く。
 会 議 委 員 会
 実 行 委 員 会
 選挙管理委員会
 ホーム・ルーム
 クラブ及び同好会
- 第 7 条 各機関の会議は、その構成員の 2/3 以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数とする。ただし、会則改正については別に定める。
 第 8 条 各機関は、必要に応じて関係者を呼び、参考意見を聞くことができる。
 第 9 条 本会に次の役員を置く。
- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 会 長 | 会員の立候補制選挙によって 1 名選出 |
| 副 会 長 | 会長の指名により会員中より 2 名選出 |
| 委員長（局長を含む） | 会長の指名により会員中より 14 名選出 |
| 副委員長（副局長を含む） | 各委員長（局長を含む）の指名により会員中より 14 名選出 |
| 評 議 委 員 | 各ホーム・ルームから 1 名選出 |
| 選挙管理委員 | 各ホーム・ルームから 1 名選出 |
- 第 10 条 会長は、本会を総括し、本会最高責任者とする。
 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは会務を代行する。
 第 11 条 役員は、任期は、毎年 4 月当初に始まり、翌年 3 月末日に終わるものとする。

(197)

(出典 平成 23 年度学生便覧)

クラブ活動は、現在 20 の運動部と 3 文化部及び 2 つの文化・サークル連合が存在し、1 教員 1 クラブ顧問制により一部の管理職教員を除く全教員体制で管理・指導が行われている（資料 7-1-⑤-2）。

クラブおよびクラブ顧問一覧

平成23年度 学生会・クラブ顧問教員

クラブ・同好会名	連絡責任者	顧問教員名				
陸上競技部	渡邊志保美	牛丸 真司	相良 誠			
ソフトテニス部	佐藤 崇徳	平田陽一郎	山根 説子			
バレーボール部	大庭 勝久	長澤 正氏	大久保清美			
バスケットボール部	遠山 和之	永禮 哲生	松本 祐子			
野球部	高橋 儀男	手塚 重久	高矢 昌紀	渡辺 敦雄	鈴木 正樹	市川 周一
卓球部	稲津 晃司	高野 明夫				
柔道部	松澤 寛	西垣 誠一				
剣道部	澤井 洋	鈴木 久博				
サッカー部	中道 義之	駒 佳明	江上 親宏	望月 孔二	大久保進也	
ラグビー部	井上 聡	小林 隆志	鄭 萬溶			
体操部	佐藤 誠	江間 敏				
水泳部	小林 美学	新富 雅仁	西村 賢治			
合気道部	長谷 賢治	舟田 敏雄				
テニス部	竹口 昌之	古川 一実	後藤 孝信	西田 友久		
スキー部	嶋 直樹	川上 誠				
ハンドボール部	野毛 悟	松田 伸也				
弓道部	芳野 恭士	佐藤 憲史				
空手道部	芹澤 弘秀	宮内 太積				
バドミントン部	押川 達夫	藤尾三紀夫	大沼 巧			
トライアスロン部	三谷祐一朗	出川 智啓				
吹奏楽部	鈴木 茂樹	藁科 知之				
囲碁将棋部	待田 芳徳	勝山 智男				
ロボコン部	青木 悠祐	山中 仁				
学生会	鄭 萬溶	鈴木 茂樹				
文化サークル連合(科学技術)	鈴木 康人	村松 久巳	大川 政志			
文化サークル連合(文芸・文学)	真鍋 保彦	吉野龍太郎	大石加奈子			

文サ連(科学技術) 機械工学・天文・環境問題研究会・プロコン 文サ連(文学・文芸) 茶道・合唱・軽音楽・ESS

(出典 クラブ顧問会議資料)

また、クラブ顧問会議において定期的に諸課題の報告・検討が行われている(資料7-1-⑤-3)。さらにクラブ活動の安全を確保するために、クラブ活動の安全対策マニュアルが作成され、それに基づいてクラブごとの安全マニュアルも作成されている(資料7-1-⑤-4)。そして、学生課学生係による事務的支援も行われている。また、外部コーチ制(資料7-1-⑤-5)が導入され、クラブ顧問ではできない専門的な指導を受けることも可能となっている。課外活動や学生会活動で特に顕著な業績を残した学生に対しては、卒業式などにおいて特別表彰も実施している(資料7-1-⑤-6)。これらの活動にかかる経費については、全学生から徴収した学生会費をはじめ、運営費交付金及び教育後援会からの援助も行われている(資料7-1-⑤-7～9)。

クラブ顧問会議に関する資料

[page: 01]

題名 クラブ顧問会議の開催について(通知)
差出人

平成22年 2月23日

クラブ顧問各位

校長補佐 (学生主事)

クラブ顧問会議の開催について (通知)

標記のことについて、下記のとおり開催しますので、各クラブから
1名以上必ず出席願います。

記

日 時：平成22年3月11日 (木) 11:00～

場 所：管理棟3階 大会議室

- 議 題：1. 平成21年度クラブ強化費執行状況について
2. 平成22年度クラブ顧問について
3. 平成22年度クラブ登録手続きについて
4. 平成22年度クラブ物品要求手続きについて
5. 平成22年度クラブコーチ委嘱手続きについて
6. 平成22年度高専体育大会について
7. 平成22年度シャワー室清掃当番について
8. その他

沼津工業高等専門学校

学生課 学生係

Tel 055-926-

Mail @numazu-ct.ac.jp

(出典 本校学内メール)

クラブ活動安全マニュアル（抜粋）

クラブ活動における安全対策等の手引き

— 安全第一方針に従うクラブ活動の指導指針 —

内 容

- I. クラブ活動における安全対策
- II. クラブ活動時の勤務体制
- III. クラブ活動に関する各種提出書類
- IV. クラブ活動等に関する諸規則，施設使用心得
- V. 緊急連絡網(全体)
- VI. クラブ顧問・コーチ名簿
- VII. 各クラブの安全対策等

沼津工業高等専門学校
学生委員会

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

外部コーチ一覧表

平成23年度 クラブコーチ名簿

No.	クラブ名	コーチ名	郵便番号	住 所	TEL	勤 務 先	TEL
1	野球部	高吉 文雄					
2	剣道部	谷 次雄					
3	文化サークル 連合(天文)	望月 泰雄					
4	柔道部	青木 鶴佳					
5	弓道部	小柳出訓実					
6	陸上競技部	菊池 伸明					
7	テニス部	関 浩芳					
8	ソフトテニス 部	小野 美英					
9	ソフトテニス 部	吉村 貞幸					
10	バスケット ボール部	鈴木 勝					
11	サッカー部	濱村 功					
12	サッカー部	坂井 徳尚					
13	バレーボール 部	永井 颯					
14	バドミントン 部	小川 重光					
15	合気道部	飯田 三郎					
16	水泳部	増山 和					
17	空手道部	原田 直敏					
18	空手道部	小柳津 哲					
19	スキー部	吉川 泰弘					
20	スキー部	高橋 匠					
21	スキー部	佐藤 淳					
22	スキー部	清水 良平					
23	野球部	千葉 雅浩					
24	野球部	浜島 健					
25							
26							
27							
28							
29							
30							

H23.6.7 現在

(出典 学生課作成資料)

表彰規定(抜粋)

1. 表 彰

学業成績、課外活動等において優れた実績を示し、かつ本校学生として他の模範となる学生に対し卒業時に表彰を行う（ただし、停学以上の懲戒処分を受けた者は原則として除かれる）。

教務関係

(1) 学業成績優秀賞

第3学年から第5学年までの成績が特に優秀な者

（第4学年への編入学生については第4学年から第5学年までの成績が特に優秀な者）。

(2) 出席皆勤賞

5年間（留学生については3年間）皆勤の者。ただし、各学年の年間欠課時間が2時間以内、かつ、5年間（留学生については3年間）で合計6時間以内（公休及び欠席・欠課願に基づき校長が認めた最大40時間以内の就職試験又は大学編入学試験関連の欠課を除く）。

(3) 研究活動功労賞

卒業研究及び科学技術に関する研究活動において功績顕著で本校の名誉を高めた者

学生関係

(4) 課外活動功労賞

課外活動に卓越した成果をおさめ、本校の名誉を高めた者

選考基準

クラブ活動（運動・文化部門）

ア 地区大会（高専体育大会及び各種地区大会）

（ア）個人種目で優勝1回以上又は準優勝2回以上した者

（イ）団体種目で優勝1回以上又は準優勝2回以上に貢献した者

イ 全国大会（高専体育大会及び各種全国大会）

（ア）個人種目で優勝1回以上又は準優勝1回以上した者

（イ）団体種目で優勝1回以上又は準優勝1回以上に貢献した者

ウ その他団体部門で特に優秀な選手（者）として他の団体等に選抜された者

(5) 学生会活動功労賞

学生会の役員として、学生会の発展に貢献した者で選任された期間中の貢献度を加味し、3名以内を選定する。

(6) 社会活動功労賞

学生の模範として、人命救助など推奨できる行為のあった者

寮務関係

(7) 寮生会活動功労賞

寮生会の指導者として、リーダーシップを発揮し、規律ある有意義な寮生活の達成に貢献した者

(161)

(出典 平成23年度学生便覧)

学生の活動経費に関する資料

平成22年度学生会予算案

収入の部			
項目	予算額	人数	小計
学生会費	¥ 6,000	1039	¥ 6,234,000
入会金	¥ 1,000	208	¥ 208,000
前年度繰越金	¥ 3,525,350		¥ 3,525,350
コピー収入予定	¥ 200,000		¥ 200,000
総計			¥10,167,350

支出の部				
クラブ・同好会活動費内訳	予算額	全体	項目	予算額
クラブ		本部	全国高専交流会	¥150,000
合気道	¥3,720	本部	慶弔費	¥50,000
囲碁・将棋	¥500	本部	雑費	¥50,000
空手	¥9,600	本部	小計	¥250,000
弓道	¥89,250	企画	企画費用	¥250,000
剣道	¥10,502	企画	小計	¥250,000
サッカー	¥143,480	文芸報道	USB代	¥3,000
柔道	¥7,300	文芸報道	文集対象景品代	¥40,000
吹奏楽	¥69,530	文芸報道	文集製作費	¥750,000
水泳	¥70,000	文芸報道	雑費	¥5,000
スキー	¥37,000	文芸報道	小計	¥798,000
軟式テニス	¥192,164	文芸報道	体育祭費用	¥333,600
体操	¥18,600	文芸報道	小計	¥333,600
卓球	¥82,630	文芸報道	作業用具購入費	¥1,000
トライアスロン	¥18,035	文芸報道	苗・肥料購入費	¥50,000
男子バスケット	¥25,371	文芸報道	ボランティア活動費	¥60,000
女子バスケット	¥11,690	文芸報道	雑費	¥5,000
バドミントン	¥159,800	文芸報道	小計	¥116,000
男子バレー	¥27,690	文芸報道	体育祭費用	¥80,000
女子バレー	¥6,800	文芸報道	小計	¥85,000
硬式テニス	¥105,600	文芸報道	合宿費	¥85,000
ハンドボール	¥181,410	文芸報道	応援諸経費	¥165,000
野球	¥396,400	文芸報道	小計	¥150,000
ラグビー	¥77,175	文芸報道	物品購入費	¥130,000
陸上	¥45,805	文芸報道	紙代	¥380,000
ロボコン	¥4,258	文芸報道	コピー機維持費	¥680,000
同好会		文芸報道	小計	¥860,000
合唱	¥23,000	文芸報道	高専祭	¥2,500,000
環境問題	¥0	文芸報道	小計	¥2,500,000
機械工学	¥8,500	文芸報道	実行委員会	¥1,856,210
軽音	¥0	文芸報道	クラブ・同好会活動費	¥860,000
茶道	¥11,000	文芸報道	予備費	¥2,716,210
天文	¥19,400	文芸報道	小計	¥7,788,810
プロコン	¥0	文芸報道	予備費小計	¥2,378,540
ESS	¥0	文芸報道	小計	¥2,378,540
活動費	¥1,856,210	文芸報道	総計	¥10,167,350
部活動予備費	¥860,000	文芸報道		
合計	¥2,716,210	文芸報道		

平成22年度会計長

平成22年度評議委員長

(出典 平成22年度学生会予算案)

教育後援会決算書

平成21年度教育後援会決算書

収入の部					
科目	目	予算額	収入額	予算額との差	備考
		A	B	C=B-A	
1.正会員会費	1.入会金	3,015,000円	3,000,000円	△15,000円	見込入学者1名見積相違
	2.過年度会費	0	0	0	
	3.会費	23,994,000	23,832,000	△162,000*	*下記参照
	4.過年度会費	0	22,000	22,000*	*下記参照
	5.臨時会費	0	0	0	
2.賛助会員会費	1.賛助会員会費	300,000	375,000	75,000*	*下記参照
3.寄付金	1.寄附	0	0	0	
4.雑収入	1.雑収入	10,000	2,658	△7,342	預金利息
5.繰越金	1.前年度繰越金	2,610,490	2,610,490	0	
6.積立金受入	1.積立金受入	0	0	0	
合計		29,929,490	① 29,842,148	△87,342	

【会費】9月修了者 △15,000円 専攻科 (@7,500円×2名)
 休学者 △59,000円 本科 (@11,000円×4名) 専攻科 (@7,500円×2名)
 中途退学者 △11,000円 本科 (@11,000円×1名)
 未納者 △77,000円 本科 (前期@11,000円×3名、後期@11,000円×4名)

【過年度会費】H20年度会費 22,000円 本科 (@11,000円×2名)

【賛助会員会費】会員数見積相違 75,000円 (会員数75名-見積会員数60名=15名増加)

支出の部							
科目	目	予算額	流増減(△)額	改予算額	支出額	残額	備考
		A	B	C=A+B	D	E=C-D	
1.事務費	1.給与	1,350,000円	5,104円	1,355,104円	1,355,104円	0円	
	2.事務費	600,000	0	600,000	301,531	298,469	
	3.会費	3,500,000	0	3,500,000	298,986	3,201,014	
	1.教育援助費	3,910,000	0	3,910,000	3,859,958	50,041	
	2.課外活動援助費	3,596,000	0	3,596,000	3,095,609	500,391	
	3.体育大会経費	10,880,000	0	10,880,000	10,370,249	509,751	
	4.学生養育厚生補償費	440,000	37,538	477,538	486,353	0	
	5.学生保健衛生費	12,000	564	12,564	12,564	0	
	6.会費との連絡費	300,000	0	300,000	294,840	5,160	
	7.慶弔記念費	52,000	0	52,000	46,500	5,500	
	8.研究研修助成費	2,640,000	58,560	2,698,560	2,698,560	0	
	9.進路開拓及び職業進学指導費	160,000	0	160,000	116,719	43,281	
	10.学校紹介費	1,087,000	0	1,087,000	1,084,947	2,453	
	11.渉外補助費	50,000	0	50,000	22,310	27,690	
	12.環境整備助成費	150,000	0	150,000	129,072	20,928	
	13.卒業式関連経費	300,000	41,507	341,507	421,507	0	
3.積立金	1.積立金	300,000	0	300,000	300,000	0	
4.学生安全関係費	1.学生安全関係費	1,688,720	0	1,688,720	1,687,200	1,520	
5.予備費	1.予備費	1,974,770	△143,088	1,831,682	0	1,831,682	
合計		29,929,490	0	29,929,490	② 26,581,610	3,347,880	

平成22年度へ繰越額 ①29,842,148-②26,581,610=3,260,538

(出典 平成22年度教育後援会総会資料)

学生の活動経費に関する資料

平成22年度クラブ強化費予算配分方針(抜粋)

1. 保留額……100,000円

2. 予算の申請・配分を「基本経費」と「活動経費」に分けて行う。

3. 基本経費

下記①・②・③については「基本経費」として全体の強化費から予め差し引くこととし、各クラブ・文化サークル連合の個別予算には計上しない。

なお、登録費は「団体扱い」のみを対象とし、「個人扱い」の場合は対象外とする。

① 協会登録などの一定の条件を満たした団体登録料

② 公式戦および公式戦に準ずる活動の参加料

・高専大会参加種目のクラブ……なし

・その他のクラブ……1大会(活動)のみ1/2負担(高校・大学等の区別なし)

※ 高専大会経費については強化費には含めない(別途予算)。

※ 個人登録費は全て個人払いとする。

※ 「基本経費」については申請項目以外への流用は認めない(学生係で一元管理)。

③ クラブ顧問の付添旅費(コーチ旅費も含む)

※ 年度当初の各クラブ強化費執行計画に基づいて配分。

4. 活動経費(標準配分額)……「活動経費」の「標準配分額」を以下のとおり算出する。

● 実質配分額……〔クラブ強化費〕－〔保留額〕－〔基本経費合計〕

● 固定配分額……実質配分額の50%を下記の比率で配分

運動部・吹奏楽部・囲碁将棋部・ロボコン部:1.0, 文化サークル連合:0.4

● 学生積算配分額……実質配分額の50%を学生の人数に比例して配分

※この予算配分のための部員数は年度当初のものとする。

● 〔活動経費・標準配分額〕＝〔固定配分額〕＋〔学生積算配分額〕

※ 但し、年度当初の強化費執行計画においてコーチ謝金、参加費の申請がなかったクラブについては活動経費を0とし、支給しないこととする。

5. 活動経費(予算決定)

各クラブの「活動経費」を以下のとおり決定する。

1) 〔申請額〕≤〔標準配分額〕→ 〔申請額〕※差額合計(余剰金)は2)で再配分

2) 〔申請額〕>〔標準配分額〕→ 〔余剰額を超過額に応じて再配分〕

※ クラブ強化費予算額内訳

教育後援会クラブ強化費予算額2,900,000円

運営費交付金(謝金のみ支出可)860,000円

合計3,760,000円

(出典 クラブ顧問会議資料)

(分析結果とその根拠理由)

校長補佐(学生主事)を中心とした学生主事補、学生委員、クラブ顧問教員、学生課職員などによる人的支援、学生会費・運営費交付金・教育後援会費による経済的支援、系統的な安全対策や外部コーチによる専門的指導などが整っており、学生が課外活動に取り組むための十分な環境が整っている。

観点7-2-①： 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

学生の生活に関しては、準学士課程では学級担任(資料7-2-①-1, 2), 専攻科課程では指導担当教員(資料7-2-①-3, 4)によって日常的に個々に対して行われるものが根幹である。

資料7-2-①-1

学級担任一覧

平成23年度 校務分掌

平成23年4月1日 現在

<table border="1"> <tr><td colspan="2">校 長</td></tr> <tr><td colspan="2">柳 下 福 蔵</td></tr> <tr><td colspan="2">副校長(教務主事)</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 大 島 茂</td></tr> <tr><td colspan="2">校長補佐(学生主事)</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 蓮 實 文 彦</td></tr> <tr><td colspan="2">校長補佐(寮務主事)</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 遠 藤 良 樹</td></tr> <tr><td colspan="2">校長補佐(専攻科長)</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 遠 山 和 之</td></tr> <tr><td colspan="2">校長補佐(特定業務担当)</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 大 久 保 清 美</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 押 川 達 夫</td></tr> <tr><td colspan="2">機械工学科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 小 林 隆 志</td></tr> <tr><td colspan="2">電気電子工学科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 望 月 孔 二</td></tr> <tr><td colspan="2">電子制御工学科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 川 上 誠</td></tr> <tr><td colspan="2">制御情報工学科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 長 谷 賢 治</td></tr> <tr><td colspan="2">物質工学科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 芳 野 恭 士</td></tr> <tr><td colspan="2">教養科長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 西 垣 誠 一</td></tr> <tr><td colspan="2">図書館長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 江 間 敏</td></tr> <tr><td colspan="2">総合情報センター長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 牛 丸 真 司</td></tr> <tr><td colspan="2">(副)講師 中 道 義 之</td></tr> <tr><td colspan="2">地域共同テクノセンター長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 藤 尾 三 紀 夫</td></tr> <tr><td colspan="2">(副)教 授 相 良 誠</td></tr> <tr><td colspan="2">(副)准教授 稲 津 晃 司</td></tr> <tr><td colspan="2">技 術 室 長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 西 田 友 久 衛</td></tr> <tr><td colspan="2">技 術 長 石 和 嘉</td></tr> <tr><td colspan="2">学生生活支援室長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 小 林 美 学</td></tr> <tr><td colspan="2">実習工場長</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 小 林 隆 志</td></tr> <tr><td colspan="2">事務部長</td></tr> <tr><td colspan="2">上 原 正 宣</td></tr> <tr><td colspan="2">総務課長</td></tr> <tr><td colspan="2">五 条 寿 久 充 三</td></tr> <tr><td colspan="2">課長補佐 露 木 弘 義</td></tr> <tr><td colspan="2">課長補佐 影 島 義 三</td></tr> <tr><td colspan="2">学生課長</td></tr> <tr><td colspan="2">山 添 均 啓 二</td></tr> <tr><td colspan="2">課長補佐 室 伏 啓 二</td></tr> </table>	校 長		柳 下 福 蔵		副校長(教務主事)		教 授 大 島 茂		校長補佐(学生主事)		教 授 蓮 實 文 彦		校長補佐(寮務主事)		教 授 遠 藤 良 樹		校長補佐(専攻科長)		教 授 遠 山 和 之		校長補佐(特定業務担当)		教 授 大 久 保 清 美		教 授 押 川 達 夫		機械工学科長		教 授 小 林 隆 志		電気電子工学科長		教 授 望 月 孔 二		電子制御工学科長		教 授 川 上 誠		制御情報工学科長		教 授 長 谷 賢 治		物質工学科長		教 授 芳 野 恭 士		教養科長		教 授 西 垣 誠 一		図書館長		教 授 江 間 敏		総合情報センター長		教 授 牛 丸 真 司		(副)講師 中 道 義 之		地域共同テクノセンター長		教 授 藤 尾 三 紀 夫		(副)教 授 相 良 誠		(副)准教授 稲 津 晃 司		技 術 室 長		教 授 西 田 友 久 衛		技 術 長 石 和 嘉		学生生活支援室長		教 授 小 林 美 学		実習工場長		教 授 小 林 隆 志		事務部長		上 原 正 宣		総務課長		五 条 寿 久 充 三		課長補佐 露 木 弘 義		課長補佐 影 島 義 三		学生課長		山 添 均 啓 二		課長補佐 室 伏 啓 二		<table border="1"> <tr><td colspan="2">教 務 主 事</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 大 島 茂</td></tr> <tr><td colspan="2">教務副主事</td></tr> <tr><td colspan="2">< 欠 員 ></td></tr> <tr><td colspan="2">教務主事補</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 村 松 久 巳</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 高 野 明 夫</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 勝 山 智 男</td></tr> <tr><td colspan="2">学 生 主 事</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 蓮 實 文 彦</td></tr> <tr><td colspan="2">学生副主事</td></tr> <tr><td colspan="2">< 欠 員 ></td></tr> <tr><td colspan="2">学生主事補</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 井 上 聡</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 鈴 木 茂 樹</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 鄭 萬 溶</td></tr> <tr><td colspan="2">< 欠 員 ></td></tr> <tr><td colspan="2">寮 務 主 事</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 遠 藤 良 樹</td></tr> <tr><td colspan="2">寮務副主事</td></tr> <tr><td colspan="2">< 欠 員 ></td></tr> <tr><td colspan="2">寮務主事補</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 西 村 賢 治 之</td></tr> <tr><td colspan="2">講 師 中 道 義 之</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 佐 藤 崇 徳</td></tr> <tr><td colspan="2">教 科 主 任</td></tr> <tr><td colspan="2">国 語</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 大 石 加 奈 子</td></tr> <tr><td colspan="2">社 会</td></tr> <tr><td colspan="2">准 教 授 佐 藤 崇 徳</td></tr> <tr><td colspan="2">数 学</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 待 田 芳 徳</td></tr> <tr><td colspan="2">物 理</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 勝 山 智 男</td></tr> <tr><td colspan="2">化 学</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 小 林 美 学</td></tr> <tr><td colspan="2">体 育</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 佐 藤 誠</td></tr> <tr><td colspan="2">英 語</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 塩 谷 三 徳</td></tr> <tr><td colspan="2">代 行 准 教 授 鈴 木 久 博</td></tr> <tr><td colspan="2">ドイ ツ 語</td></tr> <tr><td colspan="2">教 授 大 久 保 清 美</td></tr> </table>	教 務 主 事		教 授 大 島 茂		教務副主事		< 欠 員 >		教務主事補		教 授 村 松 久 巳		教 授 高 野 明 夫		教 授 勝 山 智 男		学 生 主 事		教 授 蓮 實 文 彦		学生副主事		< 欠 員 >		学生主事補		准 教 授 井 上 聡		准 教 授 鈴 木 茂 樹		准 教 授 鄭 萬 溶		< 欠 員 >		寮 務 主 事		教 授 遠 藤 良 樹		寮務副主事		< 欠 員 >		寮務主事補		准 教 授 西 村 賢 治 之		講 師 中 道 義 之		准 教 授 佐 藤 崇 徳		教 科 主 任		国 語		准 教 授 大 石 加 奈 子		社 会		准 教 授 佐 藤 崇 徳		数 学		教 授 待 田 芳 徳		物 理		教 授 勝 山 智 男		化 学		教 授 小 林 美 学		体 育		教 授 佐 藤 誠		英 語		教 授 塩 谷 三 徳		代 行 准 教 授 鈴 木 久 博		ドイ ツ 語		教 授 大 久 保 清 美		<table border="1"> <tr><td colspan="2">学級担任</td></tr> <tr><td colspan="2">機械工学科</td></tr> <tr><td>1年</td><td>澤 井 洋 松 田 伸 也</td></tr> <tr><td>2年</td><td>平 田 陽 一 郎 宮 内 太 積</td></tr> <tr><td>3年</td><td>西 田 友 久 西 田 友 久</td></tr> <tr><td>4年</td><td>永 禮 哲 生</td></tr> <tr><td>5年</td><td>三 谷 祐 一 朗</td></tr> <tr><td colspan="2">電気電子工学科</td></tr> <tr><td>1年</td><td>代 表 勝 山 智 男 西 村 賢 治</td></tr> <tr><td>2年</td><td>鈴 木 久 博 江 間 敏 彦</td></tr> <tr><td>3年</td><td>真 鍋 保 彦</td></tr> <tr><td>4年</td><td>代 表 野 毛 悟</td></tr> <tr><td>5年</td><td>代 表 佐 藤 憲 史</td></tr> <tr><td colspan="2">電子制御工学科</td></tr> <tr><td>1年</td><td>松 澤 寛 大 沼 巧</td></tr> <tr><td>2年</td><td>佐 藤 志 保 青 木 悠 祐</td></tr> <tr><td>3年</td><td>舟 田 敏 雄 出 川 智 啓</td></tr> <tr><td>4年</td><td>江 上 親 宏</td></tr> <tr><td>5年</td><td>長 澤 正 氏</td></tr> <tr><td colspan="2">制御情報工学科</td></tr> <tr><td>1年</td><td>駒 佳 明 大 久 保 進 也</td></tr> <tr><td>2年</td><td>大 久 保 清 美 松 本 祐 子</td></tr> <tr><td>3年</td><td>代 表 芹 澤 弘 秀</td></tr> <tr><td>4年</td><td>鈴 木 康 人</td></tr> <tr><td>5年</td><td>吉 野 龍 太 郎</td></tr> <tr><td colspan="2">物質工学科</td></tr> <tr><td>1年</td><td>渡 邊 志 保 美 後 藤 孝 信</td></tr> <tr><td>2年</td><td>代 表 佐 藤 知 之 藁 科 知 之</td></tr> <tr><td>3年</td><td>稲 津 晃 司</td></tr> <tr><td>4年</td><td>古 川 一 実</td></tr> <tr><td>5年</td><td>竹 口 昌 之</td></tr> </table>	学級担任		機械工学科		1年	澤 井 洋 松 田 伸 也	2年	平 田 陽 一 郎 宮 内 太 積	3年	西 田 友 久 西 田 友 久	4年	永 禮 哲 生	5年	三 谷 祐 一 朗	電気電子工学科		1年	代 表 勝 山 智 男 西 村 賢 治	2年	鈴 木 久 博 江 間 敏 彦	3年	真 鍋 保 彦	4年	代 表 野 毛 悟	5年	代 表 佐 藤 憲 史	電子制御工学科		1年	松 澤 寛 大 沼 巧	2年	佐 藤 志 保 青 木 悠 祐	3年	舟 田 敏 雄 出 川 智 啓	4年	江 上 親 宏	5年	長 澤 正 氏	制御情報工学科		1年	駒 佳 明 大 久 保 進 也	2年	大 久 保 清 美 松 本 祐 子	3年	代 表 芹 澤 弘 秀	4年	鈴 木 康 人	5年	吉 野 龍 太 郎	物質工学科		1年	渡 邊 志 保 美 後 藤 孝 信	2年	代 表 佐 藤 知 之 藁 科 知 之	3年	稲 津 晃 司	4年	古 川 一 実	5年	竹 口 昌 之
校 長																																																																																																																																																																																																																																																										
柳 下 福 蔵																																																																																																																																																																																																																																																										
副校長(教務主事)																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 大 島 茂																																																																																																																																																																																																																																																										
校長補佐(学生主事)																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 蓮 實 文 彦																																																																																																																																																																																																																																																										
校長補佐(寮務主事)																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 遠 藤 良 樹																																																																																																																																																																																																																																																										
校長補佐(専攻科長)																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 遠 山 和 之																																																																																																																																																																																																																																																										
校長補佐(特定業務担当)																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 大 久 保 清 美																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 押 川 達 夫																																																																																																																																																																																																																																																										
機械工学科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 小 林 隆 志																																																																																																																																																																																																																																																										
電気電子工学科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 望 月 孔 二																																																																																																																																																																																																																																																										
電子制御工学科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 川 上 誠																																																																																																																																																																																																																																																										
制御情報工学科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 長 谷 賢 治																																																																																																																																																																																																																																																										
物質工学科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 芳 野 恭 士																																																																																																																																																																																																																																																										
教養科長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 西 垣 誠 一																																																																																																																																																																																																																																																										
図書館長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 江 間 敏																																																																																																																																																																																																																																																										
総合情報センター長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 牛 丸 真 司																																																																																																																																																																																																																																																										
(副)講師 中 道 義 之																																																																																																																																																																																																																																																										
地域共同テクノセンター長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 藤 尾 三 紀 夫																																																																																																																																																																																																																																																										
(副)教 授 相 良 誠																																																																																																																																																																																																																																																										
(副)准教授 稲 津 晃 司																																																																																																																																																																																																																																																										
技 術 室 長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 西 田 友 久 衛																																																																																																																																																																																																																																																										
技 術 長 石 和 嘉																																																																																																																																																																																																																																																										
学生生活支援室長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 小 林 美 学																																																																																																																																																																																																																																																										
実習工場長																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 小 林 隆 志																																																																																																																																																																																																																																																										
事務部長																																																																																																																																																																																																																																																										
上 原 正 宣																																																																																																																																																																																																																																																										
総務課長																																																																																																																																																																																																																																																										
五 条 寿 久 充 三																																																																																																																																																																																																																																																										
課長補佐 露 木 弘 義																																																																																																																																																																																																																																																										
課長補佐 影 島 義 三																																																																																																																																																																																																																																																										
学生課長																																																																																																																																																																																																																																																										
山 添 均 啓 二																																																																																																																																																																																																																																																										
課長補佐 室 伏 啓 二																																																																																																																																																																																																																																																										
教 務 主 事																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 大 島 茂																																																																																																																																																																																																																																																										
教務副主事																																																																																																																																																																																																																																																										
< 欠 員 >																																																																																																																																																																																																																																																										
教務主事補																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 村 松 久 巳																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 高 野 明 夫																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 勝 山 智 男																																																																																																																																																																																																																																																										
学 生 主 事																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 蓮 實 文 彦																																																																																																																																																																																																																																																										
学生副主事																																																																																																																																																																																																																																																										
< 欠 員 >																																																																																																																																																																																																																																																										
学生主事補																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 井 上 聡																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 鈴 木 茂 樹																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 鄭 萬 溶																																																																																																																																																																																																																																																										
< 欠 員 >																																																																																																																																																																																																																																																										
寮 務 主 事																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 遠 藤 良 樹																																																																																																																																																																																																																																																										
寮務副主事																																																																																																																																																																																																																																																										
< 欠 員 >																																																																																																																																																																																																																																																										
寮務主事補																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 西 村 賢 治 之																																																																																																																																																																																																																																																										
講 師 中 道 義 之																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 佐 藤 崇 徳																																																																																																																																																																																																																																																										
教 科 主 任																																																																																																																																																																																																																																																										
国 語																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 大 石 加 奈 子																																																																																																																																																																																																																																																										
社 会																																																																																																																																																																																																																																																										
准 教 授 佐 藤 崇 徳																																																																																																																																																																																																																																																										
数 学																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 待 田 芳 徳																																																																																																																																																																																																																																																										
物 理																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 勝 山 智 男																																																																																																																																																																																																																																																										
化 学																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 小 林 美 学																																																																																																																																																																																																																																																										
体 育																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 佐 藤 誠																																																																																																																																																																																																																																																										
英 語																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 塩 谷 三 徳																																																																																																																																																																																																																																																										
代 行 准 教 授 鈴 木 久 博																																																																																																																																																																																																																																																										
ドイ ツ 語																																																																																																																																																																																																																																																										
教 授 大 久 保 清 美																																																																																																																																																																																																																																																										
学級担任																																																																																																																																																																																																																																																										
機械工学科																																																																																																																																																																																																																																																										
1年	澤 井 洋 松 田 伸 也																																																																																																																																																																																																																																																									
2年	平 田 陽 一 郎 宮 内 太 積																																																																																																																																																																																																																																																									
3年	西 田 友 久 西 田 友 久																																																																																																																																																																																																																																																									
4年	永 禮 哲 生																																																																																																																																																																																																																																																									
5年	三 谷 祐 一 朗																																																																																																																																																																																																																																																									
電気電子工学科																																																																																																																																																																																																																																																										
1年	代 表 勝 山 智 男 西 村 賢 治																																																																																																																																																																																																																																																									
2年	鈴 木 久 博 江 間 敏 彦																																																																																																																																																																																																																																																									
3年	真 鍋 保 彦																																																																																																																																																																																																																																																									
4年	代 表 野 毛 悟																																																																																																																																																																																																																																																									
5年	代 表 佐 藤 憲 史																																																																																																																																																																																																																																																									
電子制御工学科																																																																																																																																																																																																																																																										
1年	松 澤 寛 大 沼 巧																																																																																																																																																																																																																																																									
2年	佐 藤 志 保 青 木 悠 祐																																																																																																																																																																																																																																																									
3年	舟 田 敏 雄 出 川 智 啓																																																																																																																																																																																																																																																									
4年	江 上 親 宏																																																																																																																																																																																																																																																									
5年	長 澤 正 氏																																																																																																																																																																																																																																																									
制御情報工学科																																																																																																																																																																																																																																																										
1年	駒 佳 明 大 久 保 進 也																																																																																																																																																																																																																																																									
2年	大 久 保 清 美 松 本 祐 子																																																																																																																																																																																																																																																									
3年	代 表 芹 澤 弘 秀																																																																																																																																																																																																																																																									
4年	鈴 木 康 人																																																																																																																																																																																																																																																									
5年	吉 野 龍 太 郎																																																																																																																																																																																																																																																									
物質工学科																																																																																																																																																																																																																																																										
1年	渡 邊 志 保 美 後 藤 孝 信																																																																																																																																																																																																																																																									
2年	代 表 佐 藤 知 之 藁 科 知 之																																																																																																																																																																																																																																																									
3年	稲 津 晃 司																																																																																																																																																																																																																																																									
4年	古 川 一 実																																																																																																																																																																																																																																																									
5年	竹 口 昌 之																																																																																																																																																																																																																																																									

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

学級担任のためのレファレンスマニュアル(抜粋)

2011/03/31

学級担任教員のためのレファレンスマニュアル (平成 23 年 4 月)

I 本校の目的および目標

沼津高専の目的は、

1. 豊かな人間性を備え
 2. 社会の要請に応じて工学技術の専門性を創造的に活用できる技術者の育成をおこない
 3. もって地域の文化と産業の進展に寄与すること
- です。

この目的を実現するために、学生が以下の能力、態度、姿勢を身につけることを目標としています。

1. 技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
2. 自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力
3. 工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
4. 豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
5. 実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

II 学級担任制度および学級担任の職務

II-1 学級担任制度

本高専準学士課程は、上記目標を実現するために、ホーム・ルーム制をとっています。つまり、全ての学生が学科、学年に対応した学級に属し、各学級には学級を指導する学級担任が配され、学級毎に教室が割り当てられています。

学級担任は、本高専の目的を実現し、学生が学習・教育目標を達成するために学生を援助し、指導する最前線に位置する重要な役割を担っています。学級担任制度こそは本高専における教育の屋台骨であるといえます。それ故、学級担任は当該学級の厚生補導、教務指導、特別活動指導、ホームルームの運営等々、学級に関する全てがその職務範囲に入ります。1996年に制定された「学級担任に関する内規」には、学級担任の職務として以下のように定められています。

第4条 学級担任は、校長の命を受け、次の事項を行う。

- (1) 当該学級の学生の教育指導、生活指導及び厚生補導に関すること。
- (2) 当該学級の教務に関すること。
- (3) 当該学級の学生の特別活動に関すること。
- (4) その他当該学級の運営に関すること。

II-2 学級担任の職務

学級担任の職務に対して、教育指導・教務関連事項に関しては副校長(教務主事)が、厚生補導・特別活動等に関しては校長補佐(学生主事)が支援します。

副校長は長期休業中を除いて、学級担任に当該教室の管理権限を委譲します。学級担任には教室を管理する権限と、教室内を常に清潔・整頓された状態に保ち、学習環境を整えておく義務があります。また、学級担任は、当該学級員以外のホームルームへの学生の立ち入りを制限することができます。

校長補佐(学生主事)は学生の厚生補導に関して、当該学級担任と密接に連絡を取りながら指導に当たります。その際に当該学級担任は学生主事補と同等の権限が保障されます。

以下に、「学級担任の職務の具体例」を示しますが、これらは参考であり、実際の学級運営に当たっては、学科長・教養科長と綿密に連絡を取りながら、FDを通じた教員間の経験・交流や意見交換を積極的に進める姿勢が求められます。

各種届出・手続きの詳細については教務関係規則集・学生便覧ならびに担当係にて確認されたい。なお、諸届けの様式は、総合情報センター(学内専用ページ) > 資料集 > 諸様式よりダウンロードでき、アドレスは下記の通りです。

<http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/download/syoyousiki.htm>

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

専攻科担当教員（専攻科企画運営委員）一覽

平成 2 3 年 各種委員会委員名簿 (1/2)

平成23年4月1日 現在

<p>総務委員会</p> <p>○ 柳下 福蔵 大島 茂 蓮實 文彦 遠藤 良樹 遠山 和之 大久保 清美 押川 達夫 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠治 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 江間 敏 牛丸 真司 藤尾 三紀夫 西田 友久 小事務部長 ◇ 総務課長 ◇ 学生課長 (事務) 総務係</p>	<p>学生委員会</p> <p>○ 蓮實 文彦 遠藤 良樹 学生副主事(欠員) 井上 聡 鈴木 茂樹 鄭 萬溶 会長 小林 美学 山中 仁 嶋 直樹 江上 親宏 本 祐志 大 政志 鈴木 久博 ◇ 学生課長 (事務) 学生係</p>	<p>専攻科企画運営委員会</p> <p>○ 遠山 和之 新富 雅仁 高野 明夫 大庭 勝久 鈴木 康人 竹口 昌之 藁科 知之 松澤 寛 (事務) 教務係</p>	<p>総合情報センター運営委員会</p> <p>○ 大島 茂 牛丸 真司 蓮實 文彦 遠藤 良樹 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 江間 敏 藤尾 三紀夫 事務部長 (事務) 総務係</p>
<p>教務委員会</p> <p>○ 大島 茂 勝山 智男 村松 久巳 高野 明夫 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 押川 達夫 遠山 和之 江間 敏 松澤 寛 三谷 祐一 大庭 勝久 後藤 孝信 ◇ 学生課長 (事務) 教務係</p>	<p>寮務委員会</p> <p>○ 遠藤 良樹 大島 茂 蓮實 文彦 西村 賢治 中道 義徳 佐藤 崇一 寮監 福木 洋一 1年 勝山 智男 2年 佐藤 誠 3年 芹澤 弘秀 4年 野毛 悟史 5年 佐藤 憲史 青木 悠祐 出川 智啓 大沼 巧 山根 説子 平田 陽一郎 澤井 洋樹 宮内 太積 松田 伸也 高矢 昌紀 ◇ 学生課長 (事務) 寮務係</p>	<p>図書運営委員会</p> <p>○ 江間 敏 松田 伸也 佐藤 憲史 大沼 巧 吉野 龍太郎 藁科 知之 平田 陽一郎 澤井 洋 学生課長 (事務) 図書係</p>	<p>総合情報センター委員会</p> <p>○ 牛丸 真司 中道 義之 三谷 祐一朗 真鍋 保彦 出川 智啓 鈴木 康人 藁科 知之 駒 佳明 青田 広史 原田 龍一 中村 玲治 桶田 真司 (事務) 総務係</p>
<p>寮務運営委員会</p> <p>○ 遠藤 良樹 大島 茂 蓮實 文彦 福木 洋一 事務部長 ◇ 学生課長 (事務) 寮務係</p>	<p>研究報告委員会</p> <p>○ 江間 敏 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 (事務) 図書係</p>	<p>技術室運営委員会</p> <p>○ 西田 友久 大島 茂 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 牛丸 真司 藤尾 三紀夫 MM 塩谷 三徳 石和 嘉衛 総務課長 (事務) 技術室</p>	<p>地域連携・研究支援委員会</p> <p>○ 藤尾 三紀夫 相良 誠 稲津 晃司 総富 雅仁 野毛 悟 青木 悠祐 駒 佳明 事務部長 総務課長 ◇ 山本 治利 ◇ 筒井 正文 (事務) 総務係</p>

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

専攻科担当教員規定（抜粋）

専攻科担当教員規程

(趣旨)

第1条 この規程は、沼津工業高等専門学校専攻科担当教員の資格、認定等に関し必要な事項について定めるものとする。

(担当教員の資格)

第2条 専攻科担当教員の資格は、短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する(平成3年大学評価・学位授与機構規程第4号)第2条第1項第4号に規定する資格を有し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

(担当教員の認定)

第3条 専攻科担当教員の認定は、専攻科担当教員会議の審査に基づき校長が行う。

2. 前項の審査は、別記様式の教員個人調書により行うものとする。
3. 第1項の認定は、毎年度、実施するものとする。

(研究指導教員)

第4条 校長は、専攻科の学生に対する専攻科研究論文の作成等の指導並びに沼津工業高等専門学校学則第46の4(専攻科規則案第2条)に規定する教育目標を達成するために必要な支援及び指導を行うため、専攻科担当教員である教授又は助教のうちから、当該学生ごとに研究指導教員を命ずる。

2. 校長は、前項の研究指導教員を命ずるに当たっては、専攻科担当教員会議の意見を聴くものとする。

(教育実施関係書類の提出)

第5条 専攻科担当教員は、各学期の開始前の所定の期日までに別に定める教育実施計画関係書類を、各学期の終了前の所定の期日までに別に定める教育実施報告関係書類を作成し、専攻科長に提出しなければならない。

(細目)

第6条 この規程に定めるもののほか、専攻科担当教員に関し必要な細目は、別に定める。

「専攻科の教育実施に伴う作成書式の整備に関する細則」

付則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

04年度専攻科規則集へ戻る。

教育実施計画書関係書類

- i. シラバス
- ii. 専攻科研究指導計画書
- iii. 専攻科実習開始届
- iv. その他

教育実施報告書関係書類

- i. 授業実施報告書
- ii. 専攻科研究指導報告書
- iii. 専攻科実習証明書、実習概要及び報告書
- iv. その他

1. 教員個人調書の書式は、「個人資料(JABEE仕様)書式要領」に従って定める。
2. シラバス、及び授業実施報告書の書式項目は「専攻科の教育実施に伴う作成書式の整備に関する細則」の付録Aに記載する。
3. 専攻科研究指導計画書、及び専攻科研究指導報告書の書式項目は「専攻科の教育実施に伴う作成書式の整備に関する細則」の付録Bに定める。
4. 専攻科実習開始届、実習証明書、実習概要及び報告書それぞれの書式は「専攻科実習規則」に定める。

個人調書書式

1. 氏名(年齢):
2. 所属・職名:
3. 勤務形態(常勤・学内兼任・非常勤の別):
4. 最高学位(取得年):

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

学校全体としては、学生委員会が行うもの（資料7-2-①-3, 5）と教職員、看護師、スクールカウンセラーから構成される学生生活支援室（資料7-2-①-6, 7）が行うものが存在する。また、担任連絡会議（資料7-2-①-8）を通じて教員間における学生に関する情報共有もなされている。加えて、本校が属する地域の高等学校間の生徒指導連絡協議会である沼駿地区生徒指導研究協議会に加盟し、学生委員会のメンバーが街頭補導などに参加し、近隣高等学校との生徒指導に関する情報交換を行い、本校学生の生活指導や交通指導に生かしている（資料7-2-①-9）。

資料7-2-①-5

学生委員会による学生指導の体制

平成23年度 学生委員会 業務分担 (2011.4)

項 目	主任	担 当
生活指導 生地研	嶋	江上
生活アンケート		※学生生活支援室
学内巡回	山中	大川
クリーン活動	大川	山中
交通指導	井上	鈴木久 松本
研修 御殿場研修（1年生）		※2011年度は中止（学内で実施）
スキー研修（3年生）	江上	嶋
クラブ活動	松本	鈴木久 井上
学生会活動 学生会	鄭	鈴木茂
高専祭	鈴木茂 鄭	
その他 学生支援総合センター		

平成23年度 学生委員

主 事	蓮実 (C)		
主事補	井上 (M)	鄭 (D)	鈴木茂 (S)
学生委員	鈴木久 (L)	山中 (M)	嶋 (E)
	江上 (D)	松本 (S)	大川 (C)

(出典 学生委員会資料)

学生生活支援室の概要

沼津高専 **学生生活支援室****学生の皆さんへ**

高専5年間の学校生活の間には、勉学、寮生活、課外活動、友人関係、家庭環境など全般において様々な変化があり、学生のみなさんはその中で考えたり悩んだりしながら人間的に成長していくことと思います。しかし時には、自分自身では解決の糸口が見つからないように見えることがあります。そんな時は、そのストレスが心、体、行動そして成績にも現れてくるでしょう。

「学生生活支援室」は、そういった学生の問題について、スムーズに解決できるように手助けをするための組織です。

たとえば...

- 友達や先輩、先生とうまくいかなくて困ったとき
- 将来に対して不安を感じたとき
- 成績がふるわなくて自信をなくしたとき
- 助けたい友達がいるとき
- 人に言えない悩みを抱えたとき

ぜひ、相談してください。学生の立場で一緒に考えていきます。

学生生活支援室は尚友会館2階にあります。保健室や教員室でも相談を受け付けますから、いつでも扉をたたいてください。みなさんのノックを待っています。

メンバー

役職	氏名	所属
室長	小林 美学	教養科教員
室員	能登路 純子	教養科教員
室員	坂本 信男	教養科教員
室員	塩谷 三徳	教養科教員
室員	大庭 勝久	電子制御工学科教員
室員	房間 貞	カウンセラー
室員	宇治 友子	カウンセラー
室員	牧野 初江	看護師



保護者のみなさまへ

学生の生活に関する事であれば、保護者のみなさまからの相談も承っています。お気軽にご相談ください。

m.kobayashi@numazu-ct.ac.jp (小林)

(出典 本校公式ウェブサイト)

学生生活支援室による学生指導のための会議案内

校長	事務部長	学生課長	課長補佐	学生係長	担当者	起案 <i>2/24</i> 決裁 発送
/	/		/			

~~主事~~

以下のとおり *通知* してよろしいか伺います。

題名 学生生活支援室全体会議の開催について(通知)
 差出人 学生課学生係

From: @numazu-ct.ac.jp (学生課学生係)
 Date: Wed, 24 Feb 2010 16:18:31 +0900

平成22年2月24日

学生生活支援室メンバー各位

学生生活支援室長

第10回学生生活支援室全体会議の開催について (通知)

標記のことについて、下記のとおり開催いたしますのでご参集願
 ます。

記

1. 日時 平成22年3月5日(金) 16:00~17:00
2. 場所 学生生活支援室
3. 議題 (1)情報交換
(2)その他

(出典 学生課作成資料)

資料7-2-①-8

担任連絡会議による学生指導のための情報交換の一例

平成23年 6月 6日

学級担任連絡会議委員 各位

副校長（教務主事）

学級担任連絡会議の開催について

下記のとおり開催しますのでご出席ください。
なお、出席できない場合は教務係へお知らせください。

記

日 時 平成23年 6月20日（月）16:30～17:00
場 所 選択制教室3・4
議 題

1. 学習支援（特に1～3年生）について
2. 再評価への取組みの指導について
3. 電力15%削減に対する学生指導について
4. その他

（出典 本校学内メール）

沼駿地区生徒指導研究協議会への参加

校 長	部 長	課 長	課長補佐	係長	係
/	/	/	/	主事	

主事

関係高等学校長様
関係特別支援学校長様
沼津工業高等専門学校長様



※ 先生に連絡する
タラシ - オリ印 (行き)
3.4限授業の為

沼駿生地研第8号
平成22年12月17日

沼駿地区生徒指導研究協議会
会長 加地 宗雄
(沼津市立沼津高等学校長)

第5回沼駿地区生徒指導研究協議会（生地研）の開催について（通知）

このことについて、下記により開催いたします。御多忙のところ誠に恐縮ですが、貴校の生地研担当教員の派遣につきまして御配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成23年 2月10日（木） 午後1時30分から4時まで
- 2 会 場 沼津市立沼津高等学校 誠花ホール（メディアセンター2階）
(沼津市三枚橋字鐘突免673番地)
- 3 内 容
 - (1) 開会あいさつ（会長）
 - (2) 所管事項説明
 - ア 静岡県教育委員会 学校教育課
 - イ 静岡県総合教育センター 人づくり支援課
 - ウ 静岡県文化観光部文化学術局 私学振興課
 - エ 沼津警察署 生活安全課・交通第一課
 - オ 沼津市青少年教育センター
 - カ 沼津市交通対策課
 - キ 小・中生徒指導連絡協議会
 - ク 沼津市教育委員会 学校教育課
 - (3) 質 疑
 - (4) 情報交換
 - (5) 連絡事項等
 - (6) 「心の教育推進事業」講演会（午後3時から4時まで）
学校カウンセラー 藤山 昌弘 氏
「生徒の心の闇とその対応」
 - (7) 閉会のあいさつ（副会長）
(内容が一部変更することがあります。)
- 4 その他
 - (1) 配布物がありましたら、50部御用意ください。
 - (2) 日程終了後、懇親会を開催いたします。出欠の連絡をファクシミリにてお送り願います。場所等の詳細は当日連絡いたします。

担 当
生徒指導主事
電 話



(出典 生地研開催案内文書)

学生生活支援室はメンタルヘルスを含めた学生のさまざまな問題に対する相談・援助を行っている。さらに、スクールカウンセラーを週2日委嘱する（資料7-2-①-10, 11）とともに、看護師が常駐することにより、学生の健康面に関してはきめの細かい専門的な対応が可能となっている（資料7-2-①-12）。

資料7-2-①-10

カウンセラーによる学生相談の体制

平成23年3月30日

教員各位

学生生活支援室長
校長補佐（学生主事）

平成23年度学生相談について

標記のことにつきまして、下記のとおり実施しますので、ご承知願います。

なお、クラス担任におかれましては、クラス掲示用を貴クラスに掲示していただくとともに、学生への周知をよろしくお願い申し上げます。

記

平成23年度学生相談

カウンセラー 宇治 友子 先生 月曜日 15:30～18:30

カウンセラー（臨床心理士） 房間 貞 先生 金曜日 15:30～18:30

場 所：共通棟1階 カウンセリング室

☆ 予約優先。1人1時間枠。相談を希望される場合は、事前に保健室にご連絡をお願いいたします。

実施日：下表のとおり

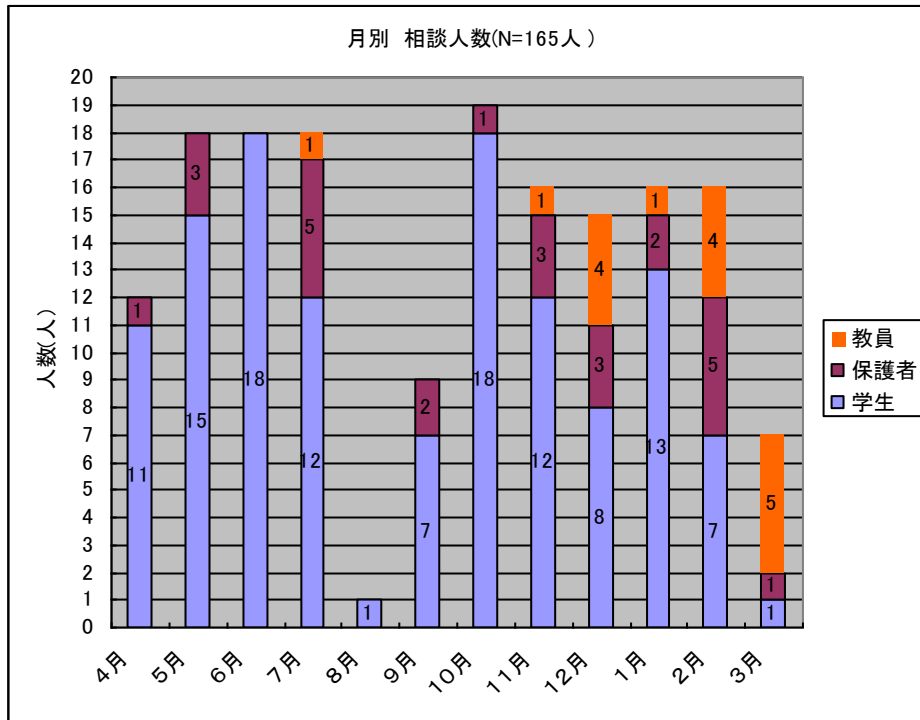
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
月			6	4		3		5		
金		6	10	8		7	11	9	6	3
月	11	9	13	11			14	12		6
金	15	13	17	15		14	18	16	13	
月	18	16	20	18		17	21	19	16	
金	22	20	24	22		21	25		20	17
月	25	23	27	25	26	24	28		23	
金		27			30	28			27	24
月		30				31			30	27
金										

（出典 本校学内案内メール）

相談室の利用実績（抜粋）

平成22年度学生相談集計

カウンセリング件数の集計のみ記載



月	相談人数
4月	12
5月	18
6月	18
7月	18
8月	1
9月	9
10月	19
11月	16
12月	15
1月	16
2月	16
3月	7
合計	165

(出典 カウンセラー作成資料)

資料7-2-①-12

保健室の利用実績

平成22年度保健室利用状況

	疾病				メンタルヘルス				合計			
	学生		教員		学生		教員		学生		教員	
	実 人員	延 人員	実 人員	延 人員	実 人員	延 人員	実 人員	延 人員	実 人員	延 人員	実 人員	延 人員
4月	86	86	1	1	3	3	0	0	89	89	1	1
5月	109	109	1	1	4	4	0	0	113	113	1	1
6月	120	120	1	1	7	7	0	0	127	127	1	1
7月	80	82	2	2	13	14	0	0	93	96	2	2
8月	9	9	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0
9月	93	93	0	0	6	7	0	0	99	100	0	0
10月	148	149	1	1	7	7	0	0	155	156	1	1
11月	130	130	2	2	2	2	0	0	132	132	2	2
12月	110	110	4	4	9	10	0	0	119	120	4	4
1月	203	203	3	3	28	29	0	0	231	232	3	3
2月	46	46	1	1	16	19	0	0	62	65	1	1
3月	13	13	5	5	3	3	0	0	16	16	5	5
合計	1147	1150	21	21	98	105	0	0	1245	1255	21	21

(出典 保健室作成資料)

学生の経済面に関しては、準学士課程1年から3年次については就学支援金、4年から5年次については授業料免除制度により支援が行われる(資料7-2-①-13)。また、日本学生支援機構などの外部奨学金制度や本校同窓会による奨学金制度なども整えられ、経済状況に応じて幅広く対応することが可能となっている(資料7-2-①-14)。奨学金等の情報は、ホームページを通し、常に最新の情報が学生、保護者に周知されている。

授業料免除による経済的支援の実績

資料7-2-①-13

年度	区分	申請	全額免除	半額免除	基準外	備考
平成18年度	前期	57	32	17	8	
	後期	55	35	15	5	
平成19年度	前期	63	34	17	12	
	後期	57	36	17	4	
平成20年度	前期	72	39	19	14	
	後期	60	37	14	9	
平成21年度	前期	69	36	25	8	
	後期	69	41	25	3	
平成22年度	前期	24	16	7	1	4年生以上
	後期	23	16	6	1	4年生以上

(出典 学生課作成資料)

各種奨学金制度による経済的支援の実績

資料7-2-①-14

No.	奨学金名	募集学年	金額	返還	利用者数	
					H21	H22
1	日本学生支援機構第1種奨学金	全学年	*1	要	64	66
2	日本学生支援機構第2種奨学金	全学年	*2	要	6	3
3	天野工業技術研究所奨学金	5年生	年額20万円	不要	1	1
4	ウシオ育英文化財団奨学金	5年生	月額6万円	不要	0	0
5	財団法人タミヤ奨学会	5年生	月額2万5千円	不要	1	未定
6	熱海市育英事業奨学金	全学年	月額1万9千円以内	要	0	1
7	印野郷土振興協会奨学金	5年生、専攻科2年生	月額5万円以内	要	0	0
8	沼津中央ライオンズ基金	本科1・2年生	月額1万5千円以内	不要	1	4
9	関育英会奨学金	本科2年生	月額2万円	要	0	1
0	スズキ教育文化財団	本科2・3年生	月額2万円	不要	1	2
11	交通遺児育英会奨学金	全学年	月額2万円、3万円、4万円から選択	要	1	1
12	あしなが育英会奨学金	全学年	月額2万5千円	要	1	0

(出典 学生課作成資料)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程では学級担任・副担任，専攻科課程では指導担当教員がまずは窓口となって指導・相談・助言を行う。そのサポート体制として，学生委員会，学生係，学生生活支援室が整備され有効に機能している。また担任連絡会議は教員が横のつながりを持つことで，情報共有と学生指導における連携で有効に機能している。

観点7-2-②： 特別な支援が必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあるか。また，必要に応じて生活支援等が行われているか。

(観点に係る状況)

外国人留学生の支援は，個別に割り当てられる担当教員及び学生チューターを中心として，学級担任教員，寮務担当教員，学生課職員，非常勤の日本語担当教員などが密接に連携することにより行われている(資料7-2-②-1)。

留学生の支援体制

資料7-2-②-1

平成22年度 在学 外国人留学生一覧

フリガナ 氏名	留学生 学年	学科	入学年月日	受入 学年	国籍	生年月日(西暦)	性別	区分	指導教員	チューター
	M5	機械工学科	20年 4月 8日	3	マレーシア		男	マレーシア 政府派遣	手塚	
	D5	電子制御工学科	20年 4月 8日	3	マレーシア		男	マレーシア 政府派遣	川上	
	S5	制御情報工学科	20年 4月 8日	3	インドネシア		男	国費	宮下	
	E4	電気電子工学科	21年 4月 7日	3	ラオス		男	国費	高野	E4
	D4	電子制御工学科	21年 4月 7日	3	ベトナム		男	国費	鄭	D4
	E3	電気電子工学科	22年 4月 5日	3	マレーシア		男	マレーシア 政府派遣	高橋	E3
	C3	物質工学科	22年 4月 5日	3	ラオス		男	国費	葵科	C3

(出典 国際交流委員会資料)

留学生は，全員学生寮に入寮することから，学生寮においては留学生の文化的な事情等に対する整備も行われている(資料7-2-②-2)。学校全体としては，国際交流委員会によって留学生に関する支援が行われている(資料7-2-②-3)。

特別な配慮を必要とするような障害を持つ学生の入学例はないが，教務の申し合わせに「身体的ハ

ンディキャップを持つ学生には、クラス担任がクラス員からチューター学生（複数）を選び、対応する」がある。また、学生生活支援室、学生委員会、教務委員会、学級担任教員が連携して対応を考える体制が準備されている。

また、設備面に関しては計画的に整備が行われ、エレベーターの設置や障害者用トイレの設置などが完備しつつある（後出資料8-1-①-13）。

資料7-2-②-2

寮内の留学生専用施設



留学生の補食室

留学生のシャワー

（※宗教の違いを考慮し、補食室とシャワー室はそれぞれ2室ずつある。）

（出典 認証評価ワーキンググループによる写真）

国際交流委員会による支援体制

[page: 01]

題名 第1回国際交流委員会の開催について(通知)
差出人 学生課課長補佐

平成22年11月9日

国際交流委員会委員 各位
(CC: 総務係(総務主担当)、教務係)

校 長

第1回国際交流委員会の開催について(通知)

標記のことについて、下記のとおり開催しますのでご参集願います。
なお、ご都合が悪く欠席される場合は、あらかじめ学生課教務係へご連絡願います。(委員会は、1時間程度で終了する予定としております。)

記

開催日時 平成22年11月16日(火)16時から

場 所 校 長 室

- 議 題
1. 国際交流委員会規則の全部改正について
 2. 国費留学生の奨学金支給期間延長申請について
 3. 東海地区国立高専留学生交流会について
 4. シンガポール・ポリテクの短期留学プログラムについて
 5. 報告事項
 - ① 英国語学研修&異文化体験について
 - ② 留学生経費について
 - ③ 平成23年度 受入予定留学生(国費)について
 - ④ その他

(出典 国際交流委員会開催案内メール)

観点7-2-③： 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

(観点に係る状況)

本校では低学年(1, 2年生)全寮制(2年生に対しては弾力的な運用)を実施しており、指導寮生を含む高学年生も含め、本校全学生の約半数が寮で生活している(資料7-2-③-1)。本校の学習・教育目標、本校の養成すべき人材像に掲げる人間的素養の形成の場として学生寮は大きな役割を果たしている。学生の生活及び勉学の場として有効に機能させるため、学生の自主性を最大限に生かし寮生会を中心とした運営を行っている。寮務担当の教員組織として、寮務主事、専任寮監、寮務主事補、寮務委員の15名であっており、寮生会をうまく機能させることを指導の中心に据えて寮運営を行っている。寮生会組織は、寮長、副寮長は全寮生の投票による選挙で選ばれ(資料7-2-③-2)、その下に各種委員会が組織的におかれ、寮務担当教員との会合(木曜会)を通じて情報交換を行いながら円滑に寮運営を進めている(資料7-2-③-3, 前出資料5-3-①-31, 32)。学生の点呼当番が一日に3回の点呼を行い、学生の生活の安全と健康状態を確認し、宿直教員に報告をしている。20:00~22:00を静粛時間(学習時間)と定め学習に専念させ(資料7-2-③-4)、多くの学生は消灯まで学習している。学生による自主的な勉強会マテカ(前出資料7-1-①-17)では、上級生が下級生に勉強を教えている。寮祭を始め、種々の行事を寮生会で企画し実行しており、近隣の長泉北中学校へ学習支援に寮生が出かけて中学生に勉強を教える活動(後出資料11-4-①-3)や、他高専の寮生会との交流も行っている(資料7-2-③-5)。平成22年度には一関高専及び釧路高専の2校と交換寮生を実施した(資料7-2-③-6)。本校の学生寮の運営体制は他高専からも高く評価されており、平成22年度には米子高専、沖縄高専、豊田高専の3高専から寮務関係教職員及び寮生が視察に訪れた(資料7-2-③-7)。

資料7-2-③-1

在寮学生の人数

2011年度第3回総務委員会寮務主事報告

①. 現員報告

563名(男子:490名 女子:73名)

1年:209(34) 2年:160(19) 3年:115(16) 4年:60(3)

5年:19(1)

専攻科:0(0) 留学生:10(2) (括弧内は女子人数)

5/22(日) 栄峰1年 S、入寮免除願提出(退寮)

(出典 平成23年度第3回総務委員会寮務主事報告より抜粋)

資料7-2-③-2

寮生会選挙細則

5. 寮生会選挙細則

第1条 この細則は寮生会会則第51条に基づき、寮長1名及び副寮長2名を公選する選挙制度について規定するものである。

第1節 選挙権及び被選挙権

第2条 選挙権は寮生会員全員がこれを有する。

第3条 被選挙権は1年、2年、3年、4年の寮生会員全員がこれを有する。但し、選挙管理委員はこれを有しない。

(出典 平成23年度学生便覧)

資料7-2-③-3

木曜会開催通知メール

寮務関係の先生方へ (Cc: 寮務係)

 です

標記会議を下記の要領で開きますので、ご出席ください。よろしくお願い致します。

記

第3回木曜会 (教員会議+合同会議)

日時: 2011年5月12日(木) 16:30-17:15 (寮務担当教員会議)

17:15-18:30 (教員と寮生会本部役員との合同会議)

場所: 寮管理棟集会室 (教員会議)、合宿所大部屋 (合同会議)

I. 寮務担当教員会議

(1) 現員報告

564名 (男子: 491名 女子: 73名)

1年: 210 (34) 2年: 160 (19) 3年: 115 (16) 4年: 60 (3) 5年: 19 (1)

専攻科: 0 (0) 留学生: 10 (2) (括弧内は女子人数)

(2) 活動報告

4月24日(日) 親睦会 (前日雨天のため)

4月25日(月) 自転車持ち込み説明会 (親睦会延期のため)

4月26日(火) 第1回寮生総会

4月28日(木) 防災訓練 (福木寮監、佐藤崇徳主事補、待田教員、遠藤)

4月29日(金) 閉寮 10:00

(出典 本校学内メールより抜粋)

資料 7-2-③-4

(1) 日課

平日は、下記の日課に従って生活する。なお、テスト期間生活時間の変更をする場合もある。

区分	時限	寮生留意点
起床	6:55	起床時刻を厳守し、寝具の整頓を速やかにする。
点呼	7:00	居室前で点呼を受ける。不在者・病人の有無を確認する。(8:00 までに点呼用紙を寮事務室に提出。)
清掃	7:00~7:30	原則として1ヵ月に1回、月曜日に行う。 8:15 までに食堂に入ること。 服装を整え、定刻までに登校する。 欠席・欠課の場合は、必ず事前に寮監に申し出て承認を受ける。本人がいない場合は階長が代理となり欠席・欠課願を提出する。(8:40 までに提出) 短縮授業中・テスト期間中は 11:30~13:00
朝礼	7:00	
朝食	7:30~8:30	
登校	8:30	
施錠	8:30	
授業	8:50	
昼食	11:45~13:00	18:50 までに食堂に入ること。
開錠	13:15	
夕食	17:00~19:00	
入浴	17:00~19:50	
点呼・門限	20:00	居室前で点呼を受ける。当番は風呂掃除を行う。
静粛時間 学習時間	(20:00 以降) 20:00~22:00	雑談、放歌等は禁止する。 学習に専念する。
点呼	22:00	居室前で点呼を受ける。不在者、病人の有無を確認する。
施錠	22:00	点呼後、棟外の外出禁止。点呼当番が帰寮後、玄関を施錠する。
消灯・就寝	23:00 1:00	1・2年生 3年生以上 (詳細は次頁表 1・2 参照)

- 〈注意〉
- ※ 土曜日・日曜日・祝日・臨時休業日等は朝の点呼なし。
 - ※ 登校時間中は、寮内への出入りは禁じる。特別の事情がある場合には寮務関係教員又は担任教員の許可を受けて出入りする。

(出典 寮生活の手引き)

寮生会活動状況



平成22年度総評

校長補佐（寮務主事）
遠藤 良樹

日ごろ寮運営にご協力、ご理解頂きありがとうございます。今年度も素晴らしい寮生会の協力のもとスタートしましたと前号でお知らせいたしましたでしたが、期待通りの活躍をみせてくれました。今年度も迎えております。長年寮務関係携わってまいりましたが、これほど寮生会が頼りになる存在であることを知りませんでした。

さて今年度の活動を簡単に振り返ってみます。

4月：25日に新入生歓迎のための親睦会が行われました。

5月：寮最大のイベント寮祭が16日に行われました。寮祭の成功は保護者の皆様のご協力があれば達成でき

ません。お礼申し上げます。

6月：今年も長泉北中学習支援が始まりました。寮で行われているマテカの拡張版と捉えています。

7月：10日に夏祭りが行われました。今年は企画長の発案で花火師を招いて打ち上げ花火を行いました。

8月：28日から30日にかけて夏季寮生リーダー研修を行い、この研修中に長泉消防署において多くの指導寮生が救命救急講習を受けました。

9月：10日に4月に行われました地震想定防災訓練と別に火災想定避難訓練を実施しました。29日には沖縄高専から寮務主事と指導寮生4名が本校寮を視察に来られました。

10月：昨年度新型コロナウイルスの影響で中止されました一関高専との交換寮生を13日から17日にかけて実施しました。同時期、釧路高専からも指導寮生2人が本校寮に宿泊体験を行っていました。

11月：10月から始まった来年度寮長選挙とこの月に行われた同副寮長選挙により来年度寮生会3役が決まりま

交換寮生日程表

一関高専交換寮生日程表

○ 10月13日(水)

1-2時限授業

10:35 帰寮、着替え、準備(棟内入室許可)

11:35 昼食(荷物は寮事務に置いておく)

12:10 最終確認

12:20 タクシーで三島駅へ

13:19 三島駅発(新幹線こだま648号)

14:17 東京駅着

14:40 東京駅発(新幹線やまびこ57号)

17:13 一ノ関駅着

19:30 交換寮生紹介(寮食堂)その後、

学生:中央委員会見学

教員:同上(ホテル泊)

○ 10月14日(木)

学生:授業。放課後、校長と面談。校内・クラブ活動見学

夜、寮生会主催の歓迎会・懇談会

教員:午前中校長と面談、学内・寮内見学等。その後沼津に戻る。

○ 10月15日(金)

授業。その後自由懇談

○ 10月16日(土)

見学会(平泉方面観光)

○ 10月17日(日)

夕方までに寮に戻れるように一ノ関駅出発(この日の外出届は不可)

* なお一関での日程は予定で、変更もあります。先方の指示に従って下さい。

* 10月13日(水)3時限以降の公休を申請して下さい。公休は13日だけです。

理由は「一関高専交換寮生派遣のため」として下さい。

* 10月14日、15日は一関の授業を本校の授業と振替えますのでこちらの授業は出席していると見なします。

(出典 寮務主事資料)

資料7-2-③-7

沖縄高専の交換寮生報告書

視察の感想

沼津高専学生寮を視察して、主に二点、沖縄高専学生寮との違いがあった。

一つ目は「寮生の主体性」である。沼津高専では寮生会を中心に様々な企画や行事を実施しており、それが実にうまく機能しているのである。その原因の一つに寮生会への参加人数の違いが挙げられる。沖縄高専は寮生会役員の数十名が中心に寮生会を機能させているが、沼津高専では、寮生の約半数が何らかの形で寮生会に関わっており、それによって連携などがうまくいき、学生でだけで実にうまく寮生会を機能させていた。特に帰省の確認まで寮生会で行っているという点や、寮生会紙の完成度の高さには驚いた。

二つ目は「寮内の雰囲気」である。沼津高専は「躰」というものが非常に徹底しており、上級生から下級生まで非常仲良くやりつつ、下級生は上級生に対してしっかりと礼儀を守っている。これらの様子は寮内にあるホワイトボードのにぎやかな感じや、寮生の自然な挨拶から伺えた。沖縄高専では下級生が上級生にあっても特に挨拶をすることはないのでこういった「躰」は沼津高専を見習ってしっかりと行ったほうがよいと思った。

最後に、沼津高専を丁寧にご案内くださった、寮務主事の方及び寮生会役員の方々に深く御礼申し上げたい。(████████)

(出典 寮務主事資料)

一部管理職教員等を除く全教員で学生の生活の安全を維持するために宿直を行い、巡回しながら学生を指導し、日誌で様子を報告している(資料7-2-③-8)。日中は寮生活の指導を行う専任寮監を配置し、日々の寮生指導と情報の集約、そして木曜会での情報提供や寮生会との連携に努めている。また平日は毎日、寮生の欠席状況をメールで全教員に連絡し、寮生の行動を全教員と共有している(資料7-2-③-9)。

寮生指導日誌

寮 生 指 導 日 誌

寮務主事	寮 監

平成 年 月 日 (曜日)

宿直教員名 _____ 印

・入室時刻 _____ 時 _____ 分

・退室時刻 _____ 時 _____ 分

遅刻・早退の場合、その理由： _____

・点呼報告 (外止・外泊者の確認、点呼時不明者の所在確認等)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

・巡視報告

巡視時間： _____

巡視箇所： _____

観察・指導内容： _____

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

・その他 _____

.....

.....

.....

.....

(出典 寮生指導日誌)

資料7-2-③-9

欠席・欠課通知メール

教員(校長を除く)・教務係・寮務係・技術室・保健室 各位

寮監 です。

5月12日(木)の寮生の欠席・欠課をご連絡します。

◎欠席

D2 (栄峰寮213室) : 体調不良(発熱)

◎欠課

C3 (翔峰寮504室) : 通院(腹痛)のため12・34限を欠課C3 (明峰寮301室) : 体調不良のため12限を欠課

なお、上記の寮生以外で授業に出席していない学生(寮生)がありましたら、
寮務係(内線5736)まで電話またはメールにてご連絡いただけますよう
お願いいたします。

(出典 本校学内メール)

(分析結果とその根拠理由)

学生寮は教職員と寮生会役員によって円滑な運営体制を確立し、本校の学習・教育目標、養成すべき人物像に掲げる人間的素養の形成の場として大きな役割を果たし、学生の生活および勉学の場として有効に機能している。

観点7-2-④： 就職や進学等の進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

就職に関する取り組みは、就職委員会(資料7-2-④-1)を中心として行われている。ここでは、定期的な委員会で就職状況の把握と問題点の洗いだし、これへの対応策の検討が行われている。就職(面接)試験対策研修会(資料7-2-④-2)やキャリアアップセミナー(資料7-2-④-3)、個別の学生へのキャリアカウンセリングが行われている。

資料7-2-④-1

就職委員会の構成員

平成23年度 各種委員会委員名簿(2/2)

平成23年4月1日 現在

地域連携・研究支援委員会 知的財産専門部会 ○藤尾 三紀夫 相良 誠 稲津 晃司 新富 雅仁 野毛 悟 青木 悠祐 駒 佳明 (事務)総務係	安全衛生委員会 ○大島 茂 渡辺 敦雄 相良 誠 稲津 晃司 牧野 初江 杉山 賢一 (事務)人事係 (事務)施設係	毒劇物管理委員会 ○芳野 恭士 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 西垣 誠一 事務部長 課長補佐(会計担当) (事務)用度係	レクリエーション委員会 ○事務部長 総務課長 課長補佐(会計担当) 手塚 重久 高橋 儀男 青木 悠祐 市川 周一 大川 政志 大石 加奈子 滝田 昌穂 岡本 ちづ子 中村 玲治 (事務)人事係
自己点検・評価委員会 ○柳下 福蔵 大島 茂 蓮實 文彦 遠藤 良樹 遠山 和之 大久保 清美 押川 達夫 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 事務部長 (事務)総務係	国際交流委員会 ○大久保 清美 大島 茂 蓮實 文彦 遠藤 良樹 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 事務部長 学生課長 (事務)学生課課長補佐 (事務)総務係	動物実験委員会 芳野 恭士 押川 達夫 後藤 孝信 薬科 知之 小林 美学 総務課長 鈴木 猛 (事務)総務係	広報委員会「高専だより」 ○坂本 信男 大石 加奈子 宮内 太積 高橋 儀男 長澤 正氏 松本 祐子 山根 説子 事務部長 総務課長 学生課長 (事務)総務係
就職委員会 ○柳下 福蔵 蓮實 文彦 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 三谷 祐一朗 佐藤 憲史 長澤 正氏 吉野 龍太郎 竹口 昌之 野毛 悟 事務部長 学生課長 (事務)学生係	環境保全委員会 ○蓮實 文彦 遠藤 良樹 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 江間 敏 事務部長 課長補佐(会計担当) (事務)用度係	尚友会館会館運営委員会 ○蓮實 文彦 大島 茂 遠藤 良樹 事務部長 総務課長 学生課長 課長補佐(会計担当) ◇学生係長 (事務)学生係	広報委員会「学校要覧」 三谷 祐一朗 高橋 儀男 江上 親宏 相良 誠 渡辺 敦雄 佐藤 崇徳 事務部長 総務課長 学生課長 (事務)総務係
	組換えDNA安全委員会 蓮實 文彦 竹口 昌之 古川 一実 鈴木 猛 総務課長 (事務)総務係	施設整備計画委員会 ○柳下 福蔵 大島 茂 蓮實 文彦 遠藤 良樹 遠山 和之 小林 隆志 望月 孔二 川上 誠 長谷 賢治 芳野 恭士 西垣 誠一 事務部長 総務課長 学生課長 課長補佐(会計担当) (事務)施設係	

(出典 本校学内限定ウェブサイト)

資料7-2-④-2

就職（面接）試験対策研修会の概要

就職活動におけるビジネスマナー研修会スケジュール

- 開催日：平成23年3月11日（金）
- 場所：沼津工業高等専門学校
集合（第一視聴覚教室）
- （A組）講義棟1階M3教室
（B組）講義棟1階M2教室
（C組）講義棟2階S3教室
（D組）講義棟2階S2教室
（E組）講義棟3階M1教室
- 日程：9:00～9:10 全体説明、講師紹介他
（第1視聴覚教室）
9:20～12:20 研修
12:20～13:00 昼食
13:00～17:00 研修
17:00 各組ごとに終了後解散

全体説明等内容（進行： ）

- 9:00 運営校長補佐挨拶（本研修会の開催意義について）
- 講師紹介 A組担当 石川 端真（いしかわ なおみ）講師
B組担当 大塚 友子（おおつか ともこ）講師
C組担当 中根 きみ絵（なかね きみえ）講師
D組担当 平泉 由美（ひらいずみ ゆみ）講師
E組担当 積 左枝（しゃく さえ）講師

配布資料確認

- ・研修スケジュール
- ・研修テキスト
- ・名簿
- ・教室の配置図

※9:20から研修が始まりますので、各自名簿等を確認して開始時間に遅れる事が無い様に研修会場へ異動してください。

(出典 学生課作成資料)

キャリアアップセミナーの概要

『キャリアアップセミナー』
総合報告書

2010年7月

沼津工業高等専門学校 客員教授
矢崎総業㈱ 総務人事室 採用担当部長
(元) 技術研究所 技術評価担当部長

理学博士
三谷 哲也

目 次

1. 総括書
2. 『キャリアアップセミナー実施報告書』
3. 受講者への『警告』の文書
4. 受講者名簿(本科生・専攻科生)と班分け表
5. 『キャリアアップセミナーの実施に関する講師派遣依頼書』 [写し]
6. キャリアアップセミナーの内容と開催予定日 [三谷から蓮見教授への電子メール]
7. 『キャリアアップセミナーの実施についての開催案内状』 [竹口准教授ご提供]
8. 第1回・第2回 【講義】 テキストなど一式
8-1. General Introduction [キャリアアップセミナー開催説明]
8-2. 『プロフェッショナルを目指して[産業界から期待される人材となるために]』
9. 第3回 【講義および実習】 テキストなど一式
『エントリーシートの作成 ~プロフェッショナルへの夢を託そう~』
10. 第4回 【講義および実習】 テキストなど一式
『入社試験の面接対策 ~夢の実現へ向けたアピールの場~』
11. 第5回 【講義】 テキストなど一式
『企業はこんな人を採りたい ~採用側企業から見た入社試験~』
12. APPENDIX I
『産業界の現状と未来に向けた変革 ~これからの産業界を生き抜くために~
[企業が求める技術者と人材育成] (今回は未実施の講義テキスト)』
13. APPENDIX II
就職活動に関する新聞記事のコピー

(出典 学生課学生係)

進学に関しては教務委員会が中心となって方針の決定を行い、進学のためのガイドブックを作成し学生に配布している(資料7-2-④-4)。個々の学生に対する具体的な指導は、準学士課程においては、各学科をベースとし、専門学科長・就職担当教員・学級担任教員などにより行われ(資料7-2-④-5)、これら担当教員の周知は、4年次の学級担任により口頭で学生にアナウンスされている。専攻科課程においては専攻科長・専攻科学生支援室・出身学科の就職担当教員などにより行われている(資料7-2-④-6)。そして、就職、進学に関する各学科の方針や状況については、学科ごとの保護者懇談会を通じて保護者にも説明がなされている(資料7-2-④-7)。平成23年度からは学生キャリア支援室が設置され、キャリアカウンセラーによるきめの細かい支援がなされる予定となっている(資料7-2-④-8)。また、このような体制がしっかりと機能し、それが実績として現れている(資料7-2-④-9)。

教務委員会が作成した進学指導に関する資料

進学のためのガイドブック

平成23年2月

沼津工業高等専門学校

(出典 学生課作成資料)

資料7-2-④-5

就職担当教員一覧



(出典 本校公式ウェブページ)

2010年度 就職支援活動リスト

平成 23 年 1 月 21 日現在

- ・ 3 月 8 日 (月) 就職 (面接) 試験対策研修会
- ・ 5 月～7 月: 本科合同キャリアアップセミナー
- ・ 6 月 インターンシップ先紹介 (申し込み期限ごとに随時)
山梨大学大学院, TTD, MS, IT キャンプ等
- ・ 6 月 25 日 (金) 専攻科実習 (インターンシップ) 事前研修 工学倫理担当教員
- ・ 1 0 月 2 2 日 (金): 専攻科就職活動説明会 (1 年生 2 0 名が参加)



専攻科の就職活動について

- ・フリーエントリー(10月頃から): 積極的に活動してください。
- ・専攻科求人票 → 自由応募(基本的にフリーエントリーと同じ)
→ 推薦応募(2～3月頃から): 推薦書は、1人1度に1社合格したら必ず入社
専攻科学生支援室のHPを見てください。
- ・学科求人票 → 各出身学科の就職担当の先生から情報をもらってください。
(4月以降が多い)

これらをうまく組み合わせて活動してください。
2年生は内々定を取れたら、分野(専攻科就職担当)にメール連絡してください。

大学院進学希望の学生も、合格したら分野にメール連絡してください。

お知らせ・報告等

- ・学生証を常に携帯・着用すること(徹底!)
- ・専攻科棟は土足禁止(ただし、教員の一時入室については土足を認めている。)
- ・土日の校舎利用について
- ・大学院OCツアーの予定: 東工大など
- ・09年度の午後の時間の使い方に関する調査を実施予定(2年生のみ)

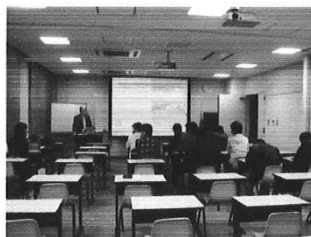
2010年度大学院説明会リスト

平成23年1月21日現在

- ・4月15日(木) 山梨大学大学院説明会：2名参加
- ・5月8日(土) 東京工業大学大学院すずかけ台オープンキャンパス：30名程参加



- ・7月1日(木) NAIST 大学院説明会：2名参加
- ・7月20日(火) JAIST 大学院説明会：専攻科長対応
- ・10月4日(月) JAIST 大学院説明会：6名参加
- ・10月29日(金) 名古屋大学大学院説明会：8名参加
- ・11月19日(金) 東京工業大学大学院説明会：7名参加
- ・12月3日(金) NAIST 説明会：10名参加



- ・12月10日(金) 筑波大学大学院，豊橋技術科学大学説明会：学生2名参加
- ・1月28日(金)，2月4日(金) 東京工業大学大学院説明会予定

(出典 専攻科長資料)

学科ごとの保護者懇談会

第 2 1 回保護者懇談会 第 2 回学科説明会 資料

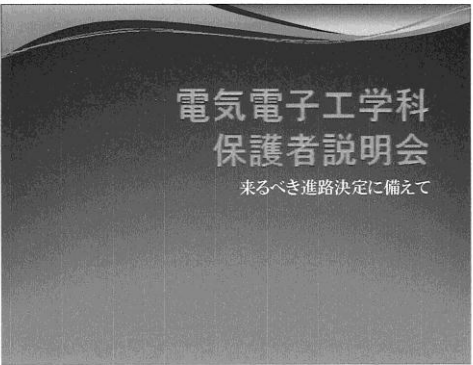
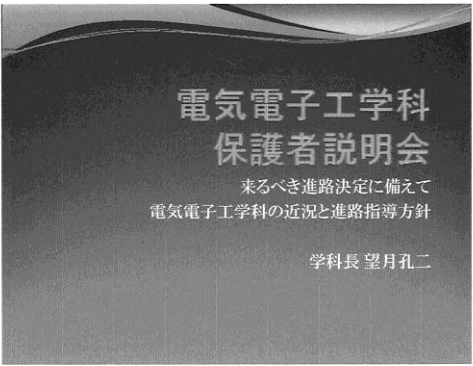
2010年11月18日(木)

沼津工業高等専門学校

電子制御工学科

目次

1. はじめに
2. 高専の目的と学業評価
3. 就職指導
4. 大学等編入学指導
5. 沼津高専専攻科紹介
6. 現4年生のタイム・スケジュール
7. おわりに.

<p>本日の進行</p> <p>電気電子工学科 保護者説明会 ～来るべき進路決定に備えて～</p> <p>13:05 開会</p> <p>13:10 電気電子工学科の近況と進路指導方針(学科長 望月孔二)</p> <p>13:30 就職指導報告(就職指導担当 江間敏)</p> <p>13:50 進学指導報告(5年生学級担任 嶋直樹)</p> <p>14:10 4年生学級担任から連絡など(4年生学級担任 高野明夫)</p> <p>14:20 3年生学級担任から連絡など(3年生学級担任 高橋健男)</p> <p>14:30 質問</p> <p>14:35 閉会</p>	
<p>本日の進行</p> <p>電気電子工学科 保護者説明会 ～来るべき進路決定に備えて～</p> <p>13:05 開会</p> <p>13:10 電気電子工学科の近況と進路指導方針(学科長 望月孔二)</p> <p>13:30 就職指導報告(就職指導担当 江間敏)</p> <p>13:50 進学指導報告(5年生学級担任 嶋直樹)</p> <p>14:10 4年生学級担任から連絡など(4年生学級担任 高野明夫)</p> <p>14:20 3年生学級担任から連絡など(3年生学級担任 高橋健男)</p> <p>14:30 質問</p> <p>14:35 閉会</p>	

(出典 電子制御工学科長, 電気電子工学科長作成資料)

沼津工業高等専門学校学生キャリア支援室規則

○沼津工業高等専門学校学生キャリア支援室規則

(平成23.6.8制定)

(設置)

第1条 沼津工業高等専門学校に、学生キャリア支援室（以下「支援室」という。）を置く。

(業務)

第2条 支援室は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生のキャリア支援及び職業意識の啓発の総括に関すること。
- (2) ガイダンス等就職支援事業に関すること。
- (3) 学生のキャリア相談への対応に関すること。（各学科において対応するものを除く。）
- (4) 学生の就職（インターンシップを含む。）に係る資料収集、整理及び分析に関すること。

(組織)

第3条 支援室は、次に掲げる支援室員で組織する。

- (1) 室長
- (2) 各学科及び専攻科就職担当教員 各1名
- (3) キャリアコーディネーター
- (4) キャリアカウンセラー
- (5) その他室長が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条第2号及び第5号に掲げる者の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(室長)

第5条 支援室の室長は、校長補佐（学生主事）をもって充てる。

2 室長に事故あるときは、あらかじめ室長の指名した学生主事補がその職務を代行する。

(任務)

第6条 室長は、支援室の業務を統括する。

2 室長以外の支援室員は、室長の命を受け、支援室の業務に従事する。

(報告及び協力)

第7条 室長は、必要に応じて運営状況を校長に報告する。

2 支援室員は、必要に応じて関係教職員に協力を求めることができる。

(事務)

第8条 支援室の事務は、学生課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、支援室の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成23年7月1日から施行する。

(出典 本校規則集)

資料7-2-④-9

学生の進路状況

平成20年度～平成22年度進路状況

【本科】

年度	卒業者 (A)	就職					進学				その他	備考
		就職希望者 (B)	就職希望率 (B/A)	就職者 (C)	就職内定率 (C/B)	求人企業数	進学希望者 (D)	進学希望率 (D/A)	進学者 (E)	進学内定率 (E/D)		
20年度	199	109	54.8%	109	100.0%	2,203	90	45.2%	88	97.8%	2	帰国1, 専門学校1
21年度	200	89	44.5%	89	100.0%	1,177	111	55.5%	107	96.4%	4	進学希望3, 専門学校1
22年度	186	87	46.8%	86	98.9%	1,370	99	53.2%	95	96.0%	5	就職希望1, 進学希望3, 研究生1
計	585	285	48.7%	284	99.6%	4,750	300	51.3%	290	96.7%	11	

【専攻科】

専攻名	修了者 (A)	就職					進学				その他	備考
		就職希望者 (B)	就職希望率 (B/A)	就職者 (C)	就職内定率 (C/B)	求人企業数	進学希望者 (D)	進学希望率 (D/A)	進学者 (E)	進学内定率 (E/D)		
20年度	30	23	76.7%	23	100.0%	175	7	23.3%	6	85.7%	1	専門学校1
21年度	33	24	72.7%	24	100.0%	63	9	27.3%	9	100.0%	0	
22年度	28	17	60.7%	17	100.0%	114	11	39.3%	10	90.9%	1	研究生1
計	91	64	70.3%	64	100.0%	352	27	29.7%	25	92.6%	2	

(出典 学生課作成資料)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程では、専門学科長・就職担当教員・学級担任が、専攻科課程では、専攻科長・専攻科学生支援室・出身学科の就職担当教員が直接学生の指導・相談・助言を行う体制となっており、きめ細かい進路指導が行われている。そのサポート体制として、就職に関しては就職委員会と学生係、進学に関しては教務委員会と教務係があり、有効に機能している。平成23年7月からは「学生キャリア支援室」を設置し、より充実した体制整備が図られつつある。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

学生の自主性を最大限に生かし寮生会を中心とした寮運営組織を構築し、本校教育方針に掲げられている「全人教育」の観点からも、人間形成の面で有効に機能させ成果を上げている。

校内のほぼ全域で無線LANを使用できる環境を整備し、eラーニングの利用や図書・文献検索を容易にし、併せて図書館の夜8時までの開館や土日曜日開館等により、学生の自主学習を支援している。

(改善を要する点)

該当なし。

(3) 基準7の自己評価の概要

学生に対し適切にガイダンスを整備し実施している。自主的学習を進める上での相談・助言のため窓口として、教務関係教員による学習支援チームが機能している。総合情報センターや各学科演習室は授業時間外の使用を認め、図書館の夜間開館や土、日の開館、そして、校内のほぼ全域で無線LANを使用できる環境を整備する等、学生の自主的学習環境が整えられ利用されている。科目担当教員、学級担任・副担任はもとより、学習支援チーム及び学生生活支援室等が積極的に学生のニーズの把握に努めている。資格試験や検定試験の受講や外国留学のための支援体制も整備され機能している。外国人留学生、編入学生、成績不振者、留年生等、特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備され、機能している。

学生の部活動、学生会活動等は、校長補佐（学生主事）を中心に組織的に支援しており、人的・経済的支援、安全対策や外部コーチの委嘱など、適切に機能している。生活や経済面に係わる指導・相談・助言等は学級担任・副担任、専攻科課程では指導担当教員が窓口となっており、学生委員会、学生係、学生生活支援室等がそれをサポートしている。外国人留学生に対する支援は、国際交流委員会を中心に十分な体制を整え実施している。障害を持つ学生の受け入れ態勢は整備しているが、これまでに受け入れの実例はない。就職・進学に関する指導については、専門学科長・就職担当教員・学級担任、専攻科長・専攻科学生支援室・出身学科の就職担当教員・指導担当教員等が行っており、就職委員会と学生係、教務委員会と教務係等がそれぞれサポートしている。平成23年度からキャリア支援センターが設置され、より充実した体制が整えられつつある。

本校は低学年（1,2年生）全寮制を実施しており、学生の自主性を最大限に生かし寮生会を中心とした寮運営組織を構築し、人間形成の面で有効に機能させ成果を上げており、他高専からも高く評価されている。